公共施設に関する市民アンケート実施結果

平成 31 年（2019 年）3 月

吹田市

目　次

第１章　調査の概要

１　調査目的 001

２　調査内容 001

３　報告書の見方 003

第２章　調査結果・分析結果

１　回答者の属性　［調査票（17）～（21）］ 004

２　公共施設の最適化について［調査票（1）～（7）］ 008

３　公共施設の複合化・多機能化について［調査票（8）～（11）］ 021

４　小・中学校の複合化・多機能化について［調査票（12）～（15）］ 026

５　貸室機能の整理について［調査票（16）］ 031

６　その他［調査票（22）～（23）］ 034

資料編

送付状 038

調査票 039

別紙　施設機能及び施設の一覧表 054

第１章　調査の概要

1　調査目的

本市では、学校や公民館などの一般建築物、道路や上下水道などのインフラ・プラント系施設を含めた公共施設の最適化に取り組んでおり、長寿命化や老朽化対策など、施設の特性に応じた方策を進めているところです。

本調査は、平成 28 年度(2016 年度)に策定した吹田市公共施設総合管理計画の個別施設計画として、一般建築物を対象に個々の施設の具体的な検討を進めるにあたり、計画作成の基礎資料とするとともに、市民に公共施設の最適化の取り組みを啓発することを目的として実施しました。

2　調査内容

調査対象：吹田市在住の 18 歳以上 85 歳未満の市民
（平成 30 年（2018 年）8 月末日現在）

実施期間：平成 30 年（2018 年）10 月 4 日～平成 30 年（2018 年）10 月 29 日

調査方法：郵送による配布回収

調査項目：
1　公共施設の最適化について
2　公共施設の複合化・多機能化について
3　小・中学校の複合化・多機能化について
4　貸室機能の整理について
5　回答者の属性について
6　その他

抽出方法：無作為抽出法

表 1.2.1　回収結果

	件数	比率	備考
A 調査票発送数	2000	－	
B 調査不能(補充)	5	0.25％	※調査不能(補充)率＝B/A×100
C 調査不能(非補充)	3	0.15％	※調査不能(非補充)率＝C/A×100
D 調査票到達数 (調査対象者数)	1997	99.85％	D＝A－C
E 回収数	805	40.31％	※回収率=E/D×100

※無記入の調査票があるため、標本数は無記入のものを除いた数（n＝794）としています

信頼区間

本調査では、標本調査(無作為抽出) であることから、標本誤差が生じることがあります。結果の誤差は、次式で得られます。

$$標本誤差=\pm 1.96\sqrt{\frac{N-n}{N-1}\times\frac{P(100-P)}{n}}$$

N=296,399 人
《母集団=吹田市の 18~85 歳未満人口 10 月末》
n＝794《有効回答者数》
P=回答の比率(%)

今回調査の標本誤差は、以下のとおりです。

表 1. 2. 2　今回調査の標本誤差

回答の比率	90%	80%	70%	60%	50%
	10%	20%	30%	40%	
誤差	±2.08%	±2.78%	±3.18%	±3.40%	±3.47%

（表の計算式の信頼度は 95%である）

※表の見方: ある設問で全体の回答の比率が「80%」であった場合、80%を中心に±2. 78%の範囲にあると推定してよいが、その推定は 95%の確率で正しい。50%の時は±3. 47%の誤差となる。

3 報告書の見方

(1) 図中の「合計」は無回答（回答なし）を含みます。各設問の属性別集計では、設問の無回答（回答なし）は除外しています。

(2) 図及び表の“N”は各設問における母数を表しています。クロス集計の場合は、クロス集計の基準となる回答項目の母数です。

(3) 比率はすべて、各項目の無回答を含む合計数（集計対象を限定する場合はその該当対象数）に対する百分比（%）で表しています。複数回答の設問では、百分比（%）の合計は 100%を超えます。

(4) 百分比（%）は、原則として小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで表示しています。そのため、四捨五入の結果、個々の比率の合計が 100%と一致しないことがあります。また、原則としてグラフ中の 0%は表示していません。

(5) 特定の設問の回答項目をキーとするクロス集計では、「その他」の項目は表示していません。ただし、合計には「その他」が含まれます。

(6) 施設機能及び施設を選択する設問（7）、設問（9）及び設問（15）の実施結果については、最も構成比が高い施設機能名、構成比が 5.0%以上の施設機能名及び施設名を記載しています。

第２章　調査結果･分析結果

１　回答者の属性 ［調査票（17）～（21）］

（１）年齢

（17）あなたの年齢（記入日現在）

「40 歳代」21.0%が最も高く、次いで「60 歳代」19.5%、「50 歳代」18.0%「70 歳代」17.0%です。

母集団と回答者の年齢構成を比べると、「60 歳代」、「70 歳代」は母集団より高く、「30 歳代」、「20 歳代」は母集団より低くなっています。

図 2.1.1　年齢

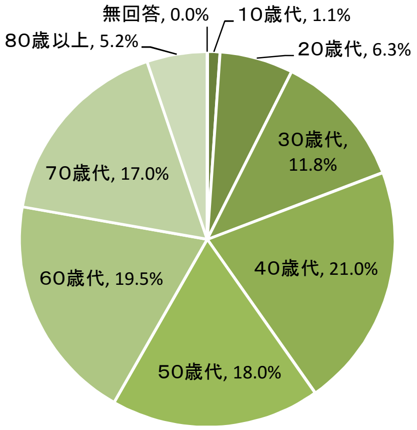


表 2.1.1　母集団と回答者の年齢構成

	母集団		アンケート回答者		構成比の差
	実数(人)	構成比(%)	実数(人)	構成比(%)	(ポイント)
10歳代 (18歳～19歳)	7,675	2.6	9	1.1	−1.5
20歳代	39,115	13.2	50	6.3	−6.9
30歳代	47,382	16.0	94	11.8	−4.2
40歳代	61,109	20.6	167	21.0	0.4
50歳代	47,333	16.0	143	18.0	2
60歳代	40,557	13.7	155	19.5	5.8
70歳代	39,818	13.4	135	17.0	3.6
80歳以上 (80歳～84歳)	13,410	4.5	41	5.2	0.7
合計	296,399	100.0	794	100.0	−

出典：吹田市住民基本台帳（平成30年10月末現在）

（２）　居住地域

（18）あなたが現在お住まいの地域（次ページの「表２　地域名及び町丁名」をご参照の上、ご記入ください）

「山田・千里丘・万博地域」20.5%が最も高く、次いで「千里ニュータウン地域」19.9%、「豊津･江坂･南吹田地域」18.1%、「千里山･佐井寺地域」16.8%、「片山・岸部地域」13.6%、「JR 以南地域」10.6%となっています。

図 2.1.2　居住地域

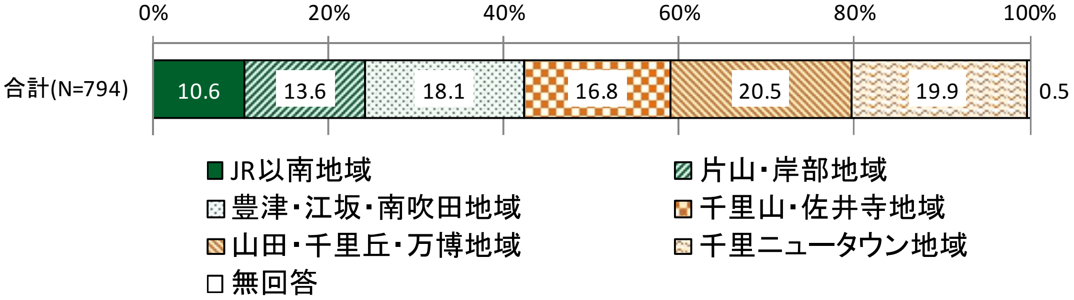


表 2.1.2　母集団と回答者の地域別構成比

	JR以南地域	片山・岸部地域	豊津・江坂・南吹田地域	千里山・佐井寺地域	山田・千里丘・万博地域	千里ニュータウン地域
母集団人口(人)	28,620	43,322	55,367	50,884	65,492	52,714
回答者数(人)	84	108	144	133	163	158
母集団人口の構成比(%)	9.7	14.6	18.7	17.2	22.1	17.8
回答者数の構成比(%)	10.6	13.6	18.1	16.8	20.5	19.9
母集団人口と回答者数の構成比の差	0.9	−1.0	−0.5	−0.4	−1.6	2.1

出典：吹田市住民基本台帳（平成 30 年 10 月末現在）

表 2.1.3　母集団と回答者の地域別年齢構成比

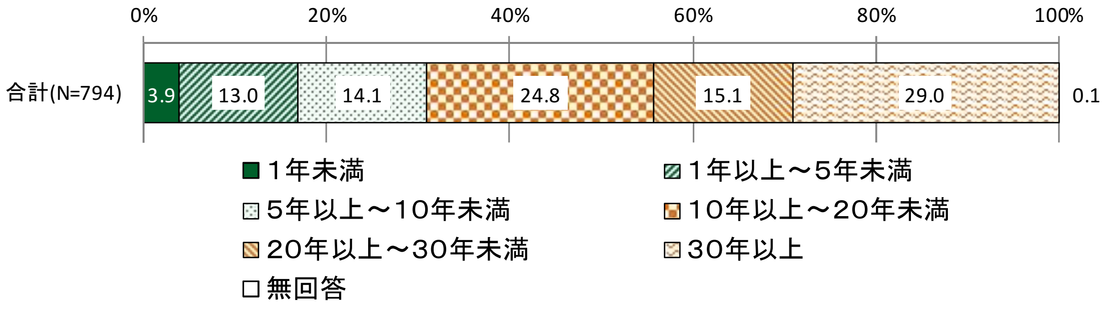
		JR以南地域	片山・岸部地域	豊津・江坂・南吹田地域	千里山・佐井寺地域	山田・千里丘・万博地域	千里ニュータウン地域
母集団人口（人）	18～19歳	738	1,118	1,186	1,582	1,811	1,240
	20～29歳	4,031	5,927	9,837	6,803	7,213	5,304
	30～39歳	3,919	6,782	10,866	8,424	10,231	7,160
	40～49歳	5,224	8,649	11,866	10,761	14,326	10,283
	50～59歳	4,322	6,796	8,100	8,639	10,488	8,988
	60～69歳	4,081	5,854	6,279	7,086	9,751	7,506
	70～79歳	4,645	6,148	5,527	5,876	9,299	8,323
	80～84歳	1,660	2,048	1,706	1,713	2,373	3,910
	計	28,620	43,322	55,367	50,884	65,492	52,714
回答者数（人）	1．10歳代	0	1	3	0	2	3
	2．20歳代	1	8	14	10	11	5
	3．30歳代	11	12	23	6	21	21
	4．40歳代	19	17	30	35	35	30
	5．50歳代	12	17	27	27	27	33
	6．60歳代	15	25	24	28	35	28
	7．70歳代	18	22	17	20	29	28
	8．80歳以上	8	6	6	7	3	10
	計	84	108	144	133	163	158
母集団の構成比（％）	18～19歳	2.6	2.6	2.1	3.1	2.8	2.4
	20～29歳	14.1	13.7	17.8	13.4	11.0	10.1
	30～39歳	13.7	15.7	19.6	16.6	15.6	13.6
	40～49歳	18.3	20.0	21.4	21.1	21.9	19.5
	50～59歳	15.1	15.7	14.6	17.0	16.0	17.1
	60～69歳	14.3	13.5	11.3	13.9	14.9	14.2
	70～79歳	16.2	14.2	10.0	11.5	14.2	15.8
	80～84歳	5.8	4.7	3.1	3.4	3.6	7.4
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答者の構成比（％）	1．10歳代	0.0	0.9	2.1	0.0	1.2	1.9
	2．20歳代	1.2	7.4	9.7	7.5	6.7	3.2
	3．30歳代	13.1	11.1	16.0	4.5	12.9	13.3
	4．40歳代	22.6	15.7	20.8	26.3	21.5	19.0
	5．50歳代	14.3	15.7	18.8	20.3	16.6	20.9
	6．60歳代	17.9	23.1	16.7	21.1	21.5	17.7
	7．70歳代	21.4	20.4	11.8	15.0	17.8	17.7
	8．80歳以上	9.5	5.6	4.2	5.3	1.8	6.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
母集団と回答者の構成比の差	18～19歳	−2.6	−1.7	0.0	−3.1	−1.6	−0.5
	20～29歳	−12.9	−6.3	−8.1	−5.9	−4.3	−6.9
	30～39歳	−0.6	−4.6	−3.6	−12.1	−2.7	−0.3
	40～49歳	4.3	−4.3	−0.6	5.2	−0.4	−0.5
	50～59歳	−0.8	0.0	4.2	3.3	0.6	3.8
	60～69歳	3.6	9.6	5.4	7.2	6.6	3.5
	70～79歳	5.2	6.2	1.8	3.5	3.6	1.9
	80～84歳	3.7	0.9	1.1	1.9	−1.8	−1.1
	計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（３）市内居住歴

（19）現在お住まいの地域での居住年数（記入日現在）

「30 年以上」29.0％が最も高く、次いで「10 年以上～20 年未満」24.8％、「20 年以上～30 年未満」15.1％、「５年以上～10 年未満」14.1％で、「１年以上～５年未満」は 13.0％です。

図 2.1.3　居住歴

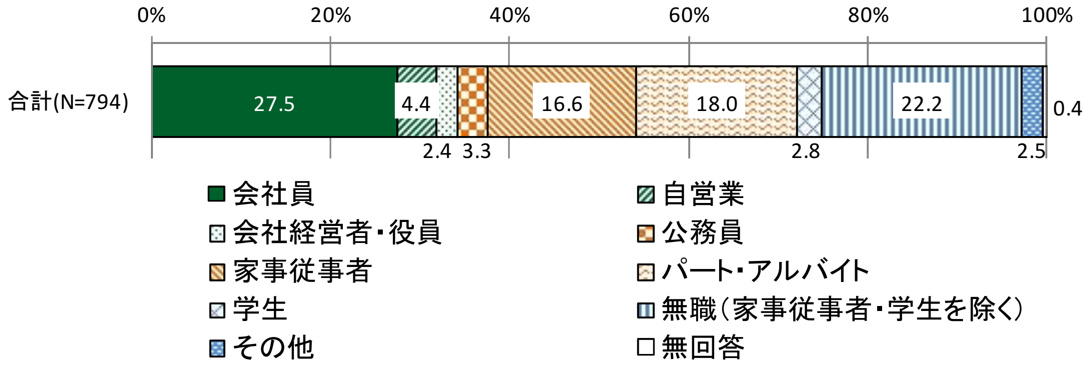


（４）職業等

（20）あなたの職業（主なものに１つ〇印をつけてください）

「会社員」27.5％が最も高く、次いで「無職（家事従事者・学生を除く）」22.2％、「パート・アルバイト」18.0％、「家事従事者」16.6％となっています。

図 2.1.4　あなたの職業

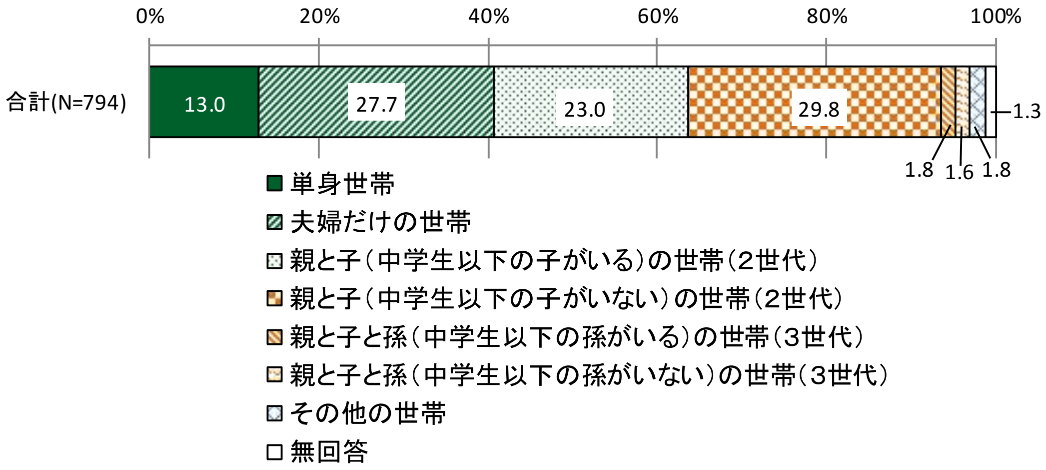


（５）世帯構成

（21）あなたの世帯構成

「親と子（中学生以下の子がいない）の世帯（２世代)」29.8%が最も高く、次いで「夫婦だけの世帯」27.7%、「親と子（中学生以下の子がいる）の世帯（２世代)」23.0%、「単身世帯」13.0%となっています。

図 2.1.5　あなたの世帯構成



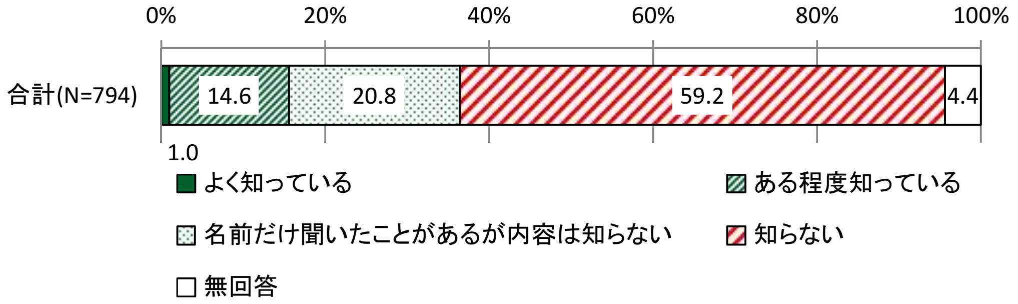
2　公共施設の最適化について［調査票（1）～（7）］

（１）公共施設の最適化の取り組みについての認知度

（１）現在、本市では２～４ページのように、公共施設の最適化を進めています。
このような取り組みをご存知ですか。

「知らない」59.2％が最も高く、次いで「名前だけ聞いたことがあるが内容は知らない」20.8％を合わせて『知らない』は 80.0％で、「ある程度知っている」14.6％と「よく知っている」1.0％を合わせた『知っている』は 15.6％です。

図 2.2.1　最適化の取り組みに関する認知度



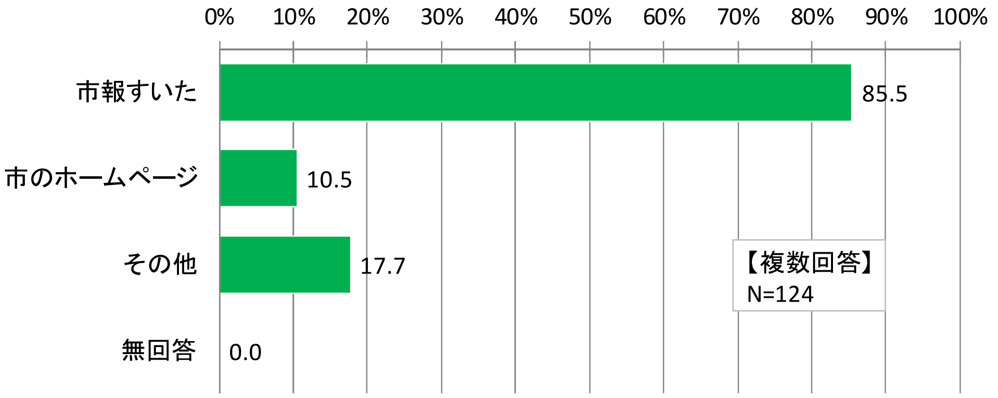
（２）情報源

（２）前記の（１）で１．よく知っている または２．ある程度知っている を選択された方にお尋ねします。
本市の公共施設の最適化の取り組みをどこで知りましたか。（複数回答可）

「ある程度知っている」と「よく知っている」と回答した方（N=124）の認知手段は、「市報すいた」85.5％が最も高く、次いで「その他」17.7％、「市のホームページ」10.5％です。

「その他」17.7％で、その内容は「友人より」、「近所の人の話で」、「人から聞いた」などでした。

図 2.2.2　最適化の取り組みに関する情報源



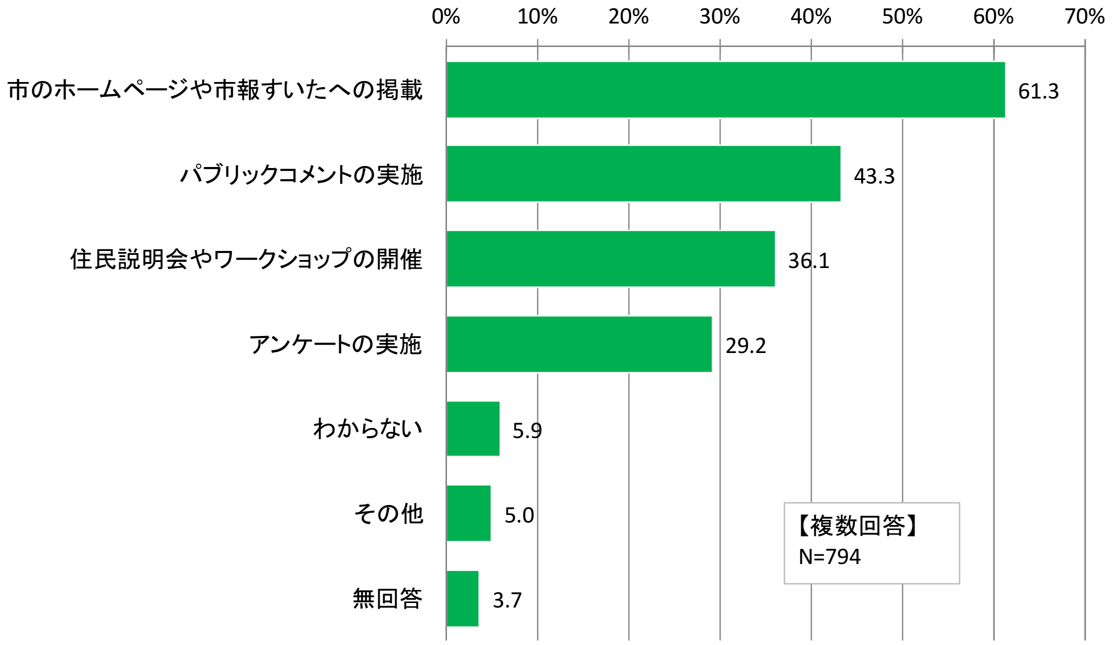
（３）行政と市民の情報共有の方法

（３）公共施設の今後のあり方の検討をする際には、行政と市民が情報を共有して進める必要があると考えています。どのような形で情報共有するべきだと思いますか。（複数回答可）

「市のホームページや市報すいたへの掲載」61.3％が最も高く、次いで「パブリックコメントの実施」43.3％、「住民説明会やワークショップの開催」36.1％、「アンケートの実施」29.2％です。

「その他」5.0％で、その内容は「Twitter、Facebook、line などの Socialmedia の活用」、「各地区やマンションの理事会などへの情報発信と意見の受取り」、「市内の駅、ホームに掲示してもらえると助かります」などでした。

図 2.2.3　情報共有の方法



（４）最近１年間に利用した公共施設

（４）あなたが最近１年間に利用した公共施設はどれですか。該当する番号に○印をつけてください。（複数回答可）

「行政施設」72.0％が最も高く、次いで「生涯学習施設」46.7％、「学校施設」26.3％、「市民交流施設」24.8％、「スポーツ施設」24.1％、「保健・医療施設」15.1％、「児童福祉施設」11.5％、「特定テーマ施設」10.7％です。

「どの施設も利用していない」は11.8％です。

年齢・居住地域・居住歴・職業・世帯構成別（属性別）にみると、「行政施設」が最も高く、次いで「生涯学習施設」はほぼ同様ですが、「80 歳以上」「会社経営者・役員」「親と子と孫（中学生以下の孫がいない）の世帯（３世代）」では、「市民交流施設」が２番目に高くなっています。また、「学生」では「行政施設」と「生涯学習施設」、「スポーツ施設」が１番高く（同率）なっています。

図 2.2.4　最近１年間に利用した公共施設

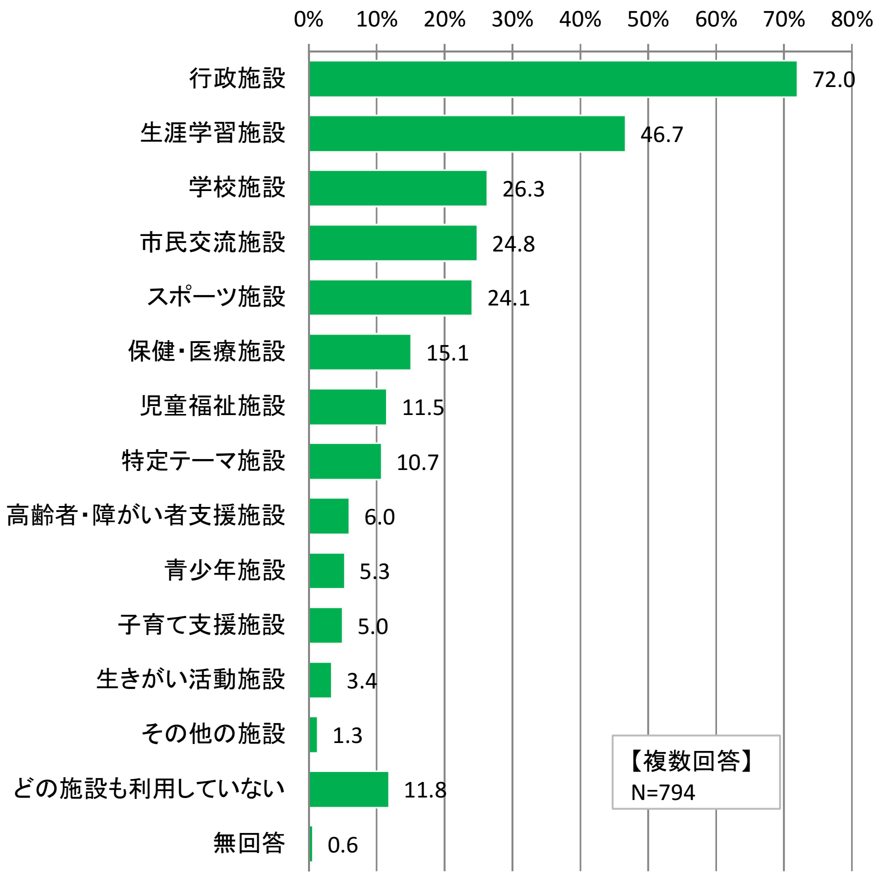


表 2.2.1　年齢・居住地域・居住歴・職業・世帯構成別、最近１年間に利用した公共施設

	構成比（%）	N=	行政施設	市民交流施設	特定テーマ施設	生涯学習施設	青少年施設	スポーツ施設	児童福祉施設	子育て支援施設	学校施設	生きがい活動施設	高齢者・障がい者支援施設	保健・医療施設	その他の施設	どの施設も利用していない	無回答
	合計	794	72.0	24.8	10.7	46.7	5.3	24.1	11.5	5.0	26.3	3.4	6.0	15.1	1.3	11.8	0.6
年齢	１０歳代	9	33.3	0.0	0.0	44.4	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	２０歳代	50	64.0	6.0	6.0	38.0	2.0	32.0	12.0	6.0	14.0	0.0	2.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	３０歳代	94	77.7	21.3	0.0	56.4	11.7	27.7	40.4	19.1	38.3	1.1	1.1	28.7	0.0	5.3	1.1
	４０歳代	167	74.3	26.9	9.0	50.3	7.8	39.5	18.6	7.2	48.5	0.0	2.4	18.6	0.0	10.2	0.0
	５０歳代	143	73.4	22.4	8.4	43.4	5.6	18.9	2.8	1.4	14.0	2.1	5.6	12.6	0.7	14.0	0.0
	６０歳代	155	74.8	21.9	14.2	43.2	3.2	16.1	5.8	2.6	20.6	2.6	10.3	12.3	3.2	12.3	0.6
	７０歳代	135	68.9	32.6	18.5	49.6	2.2	15.6	2.2	0.7	17.0	9.6	8.9	7.4	2.2	14.8	1.5
	８０歳以上	41	63.4	46.3	19.5	36.6	0.0	19.5	0.0	0.0	22.0	14.6	14.6	12.2	2.4	4.9	2.4
居住地域	JR以南地域	84	71.4	28.6	15.5	33.3	7.1	22.6	10.7	3.6	25.0	4.8	6.0	13.1	0.0	14.3	2.4
	片山・岸部地域	108	71.3	21.3	11.1	42.6	4.6	25.9	13.9	3.7	24.1	10.2	9.3	17.6	0.9	15.7	0.0
	豊津・江坂・南吹田地域	144	73.6	14.6	14.6	45.8	2.1	22.9	10.4	2.8	24.3	3.5	6.9	13.9	0.7	11.8	0.0
	千里山・佐井寺地域	133	72.9	27.1	6.8	48.9	6.0	27.1	12.0	3.8	25.6	0.8	5.3	15.8	1.5	10.5	1.5
	山田・千里丘・万博地域	163	72.4	28.2	9.2	55.2	7.4	22.7	11.0	8.0	32.5	1.8	4.3	14.1	2.5	8.6	0.0
	千里ニュータウン地域	158	71.5	29.7	9.5	48.1	5.1	24.1	11.4	7.0	25.3	1.9	5.7	16.5	1.3	10.8	0.6
居住歴	１年未満	31	90.3	19.4	6.5	38.7	0.0	25.8	6.5	6.5	19.4	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7	0.0
	１年以上～５年未満	103	79.6	15.5	6.8	56.3	6.8	23.3	27.2	13.6	28.2	1.9	4.9	28.2	0.0	6.8	0.0
	５年以上～１０年未満	112	66.1	23.2	6.3	49.1	6.3	26.8	22.3	9.8	33.0	0.0	2.7	22.3	0.9	10.7	1.8
	１０年以上～２０年未満	197	69.5	21.3	10.2	46.2	7.6	33.5	10.2	2.0	31.0	3.0	6.1	14.7	1.0	11.7	0.0
	２０年以上～３０年未満	120	73.3	30.0	10.0	45.8	5.0	18.3	3.3	2.5	18.3	1.7	4.2	10.8	1.7	13.3	0.8
	３０年以上	230	70.4	30.9	16.1	43.5	3.0	17.8	5.2	2.6	23.5	7.4	10.0	10.4	2.2	14.3	0.9
職業	会社員	218	69.3	15.6	6.0	41.7	5.0	22.0	14.2	8.3	23.4	0.5	1.8	14.2	0.5	16.1	0.5
	自営業	35	62.9	22.9	8.6	25.7	2.9	14.3	5.7	0.0	25.7	2.9	8.6	20.0	0.0	20.0	2.9
	会社経営者・役員	19	89.5	36.8	10.5	15.8	5.3	26.3	10.5	5.3	31.6	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	0.0
	公務員	26	80.8	38.5	19.2	65.4	11.5	42.3	34.6	15.4	50.0	0.0	11.5	26.9	3.8	0.0	0.0
	家事従事者	132	74.2	37.1	20.5	58.3	7.6	30.3	17.4	6.1	33.3	4.5	7.6	22.7	1.5	6.8	1.5
	パート・アルバイト	143	75.5	23.1	8.4	47.6	7.7	31.5	12.6	1.4	30.1	2.8	7.0	12.6	1.4	10.5	0.0
	学生	22	50.0	9.1	4.5	50.0	4.5	50.0	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	4.5	0.0	22.7	0.0
	無職（家事従事者・学生を除く）	176	72.2	27.8	9.7	47.2	1.7	12.5	2.8	2.8	20.5	7.4	8.0	12.5	2.3	10.8	0.6
	その他	20	70.0	20.0	25.0	55.0	5.0	15.0	5.0	5.0	25.0	10.0	10.0	15.0	0.0	10.0	0.0
世帯構成	単身世帯	103	64.1	16.5	11.7	33.0	0.0	14.6	1.9	1.0	11.7	7.8	4.9	8.7	1.9	17.5	1.9
	夫婦だけの世帯	220	76.4	24.1	15.5	44.5	3.2	15.0	2.3	1.8	16.4	4.1	7.7	12.7	1.4	10.9	0.5
	親と子（中学生以下の子がいる）の世帯（２世代）	183	74.9	31.1	6.0	68.3	14.8	41.5	41.0	17.5	59.6	0.5	2.2	30.1	0.5	4.4	0.0
	親と子（中学生以下の子がいない）の世帯（２世代）	237	69.2	24.9	10.5	40.1	3.4	23.6	3.0	1.3	17.7	2.5	8.0	8.4	1.7	15.6	0.0
	親と子と孫（中学生以下の孫がいる）の世帯（３世代）	14	64.3	7.1	14.3	42.9	0.0	28.6	7.1	0.0	42.9	7.1	7.1	21.4	0.0	14.3	0.0
	親と子と孫（中学生以下の孫がいない）の世帯（３世代）	13	76.9	38.5	0.0	38.5	0.0	23.1	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7
	その他の世帯	14	71.4	21.4	7.1	28.6	0.0	21.4	7.1	0.0	7.1	0.0	7.1	21.4	0.0	21.4	0.0

凡例
「無回答」を除いて割合が一番高い回答
「無回答」を除いて割合が二番目に高い回答

表 2.2.2　公共施設の利用状況

構成比（%）	行政施設のみを利用した	行政施設と行政以外の公共施設を利用した	公共施設を利用していない	無回答
回答数（人）	130	565	94	5
構成比（%）	16.4	71.2	11.8	0.6

表 2.2.3　学校施設の利用状況

構成比（%）	学校施設を利用した	学校施設を利用していない	無回答
回答数(人)	209	580	5
構成比（%）	26.3	73.0	0.6

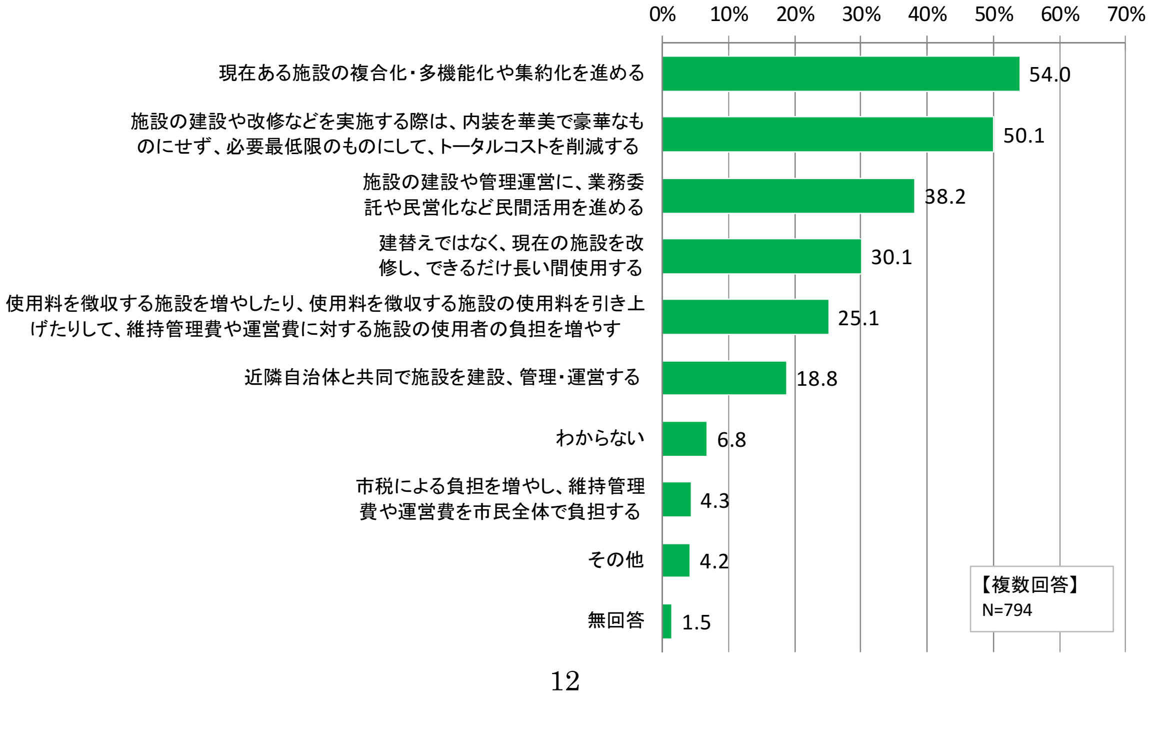
（５）効率的かつ効果的な公共施設の管理･運営に必要な取り組み

（５）今後、効率的かつ効果的に公共施設の建設や管理・運営を行っていくためには、どのような取り組みを進めるべきだと思いますか。（複数回答可）

「現在ある施設の複合化・多機能化や集約化を進める」54.0%が最も高く、次いで「施設の建設や改修などを実施する際は、内装を華美で豪華なものにせず、必要最低限のものにして、トータルコストを削減する」50.1%、「施設の建設や管理運営に、業務委託や民営化など民間活用を進める」38.2%、「建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する」30.1%、「使用料を徴収する施設を増やしたり、使用料を徴収する施設の使用料を引き上げたりして、維持管理費や運営費に対する施設の使用者の負担を増やす」25.1%、「近隣自治体と共同で施設を建設、管理・運営する」18.8%です。

「その他」4.2%で、その内容は「各施設がどのくらい使用されているか調査し、本当に必要な施設を充実させていく。また新たに「こんな施設がほしい」などの意見を集めることも必要。高齢者も障害のある方も子連れの方も安心して使用できるトイレやスペース作りが必要」、「高齢者、障害者、子ども以外の利用者からは一定の利用料を負担する」、「集約化も利用しやすいアクセスの良い場所に移すのが良い」、「利用の少ない施設、公共で行う必要のない施設は閉鎖する」などでした。

図 2.2.5　今後、進めるべき取り組み



属性別にみると、「現在ある施設の複合化・多機能化や集約化を進める」が最も高く、次いで「施設の建設や改修などを実施する際は、内装を華美で豪華なものにせず、必要最低限のものにして、トータルコストを削減する」の構成は、各属性ともほぼ同様です。

「会社経営者・役員」では、「施設の建設や管理運営に、業務委託や民営化など民間活用を進める」63.2%が最も高く、次いで「現在ある施設の複合化・多機能化や集約化を進める」57.9%となっています。

また、「親と子と孫（中学生以下の孫がいる）の世帯（３世代）」では「使用料を徴収する施設を増やしたり、使用料を徴収する施設の使用料を引き上げたりして、維持管理費や運営費に対する施設の使用者の負担を増やす」42.9%が最も高くなっています。

公共施設の最適化に関する認知度別にみると、「知っている」と回答した方が、「市税による負担を増やし、維持管理費や運営費を市民全体で負担する」以外の項目について、「知らない」と回答した方よりも高くなっています。また、公共施設の利用状況別にみると、全ての項目で「行政施設以外の公共施設を使用した」と回答した方は他より高くなっています。公共施設の利用経験があるほど、身近な問題として公共施設に関心が高いと考えられます。

表 2.2.4　年齢・居住地域・居住歴・職業・世帯構成別、今後、進めるべき取り組み

構成比（%）		N=	現在ある施設の複合化・多機能化や集約化を進める	施設の建設や管理運営に、業務委託や民営化など民間活用を進める	近隣自治体と共同で施設を建設、管理・運営する	建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	施設の建設や改修などを実施する際は、内装を華美で豪華なものにせず、必要最低限のものにして、トータルコストを削減する	使用料を徴収する施設を増やしたり、使用料を徴収する施設の使用料を引き上げたりして、維持管理費や運営費に対する施設の使用者の負担を増やす	市税による負担を増やし、維持管理費や運営費を市民全体で負担する	その他	わからない	無回答
	合計	794	54.0	38.2	18.8	30.1	50.1	25.1	4.3	4.2	6.8	1.5
年齢	１０歳代	9	55.6	22.2	22.2	22.2	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	２０歳代	50	62.0	26.0	10.0	26.0	38.0	14.0	2.0	6.0	12.0	2.0
	３０歳代	94	60.6	42.6	22.3	22.3	52.1	22.3	6.4	5.3	2.1	1.1
	４０歳代	167	57.5	46.7	20.4	25.1	50.9	19.2	3.6	6.0	5.4	0.6
	５０歳代	143	59.4	44.1	21.7	31.5	54.5	26.6	2.1	2.1	3.5	0.0
	６０歳代	155	55.5	31.6	16.8	35.5	47.1	30.3	2.6	3.9	7.1	2.6
	７０歳代	135	39.3	36.3	17.8	34.1	50.4	29.6	5.2	3.7	11.1	1.5
	８０歳以上	41	39.0	22.0	14.6	36.6	53.7	31.7	17.1	2.4	14.6	7.3
居住地域	JR以南地域	84	36.9	38.1	16.7	29.8	54.8	28.6	8.3	6.0	10.7	1.2
	片山・岸部地域	108	50.9	38.0	14.8	32.4	46.3	25.9	5.6	3.7	6.5	2.8
	豊津・江坂・南吹田地域	144	57.6	37.5	20.8	29.2	47.2	21.5	3.5	4.9	6.9	0.0
	千里山・佐井寺地域	133	59.4	35.3	18.0	27.8	50.4	24.1	3.8	5.3	6.8	2.3
	山田・千里丘・万博地域	163	57.7	42.9	17.8	31.9	49.7	27.6	3.1	3.1	4.9	2.5
	千里ニュータウン地域	158	54.4	37.3	22.8	30.4	54.4	24.7	3.8	3.2	5.1	0.6
居住歴	１年未満	31	58.1	45.2	12.9	22.6	32.3	6.5	3.2	3.2	12.9	3.2
	１年以上～５年未満	103	57.3	43.7	24.3	27.2	46.6	19.4	5.8	4.9	5.8	1.0
	５年以上～１０年未満	112	58.0	42.0	18.8	25.9	56.3	17.0	0.9	4.5	4.5	0.9
	１０年以上～２０年未満	197	55.3	39.6	17.3	34.5	49.7	26.9	4.1	4.6	4.6	1.5
	２０年以上～３０年未満	120	57.5	42.5	21.7	25.8	47.5	27.5	2.5	4.2	3.3	1.7
	３０年以上	230	47.0	29.6	17.0	33.0	53.0	31.3	6.5	3.5	11.3	1.7
職業	会社員	218	62.4	44.5	22.0	31.7	50.0	23.9	4.6	4.6	4.1	0.9
	自営業	35	54.3	31.4	20.0	25.7	34.3	28.6	2.9	0.0	8.6	2.9
	会社経営者・役員	19	57.9	63.2	31.6	36.8	52.6	26.3	5.3	5.3	0.0	0.0
	公務員	26	61.5	50.0	23.1	50.0	69.2	26.9	0.0	15.4	0.0	0.0
	家事従事者	132	59.8	30.3	19.7	26.5	56.8	28.8	5.3	4.5	3.8	0.0
	パート・アルバイト	143	51.0	35.7	16.1	25.2	51.0	22.4	2.8	2.1	7.7	2.1
	学生	22	50.0	27.3	13.6	18.2	40.9	9.1	4.5	0.0	13.6	0.0
	無職（家事従事者・学生を除く）	176	42.0	36.4	14.2	34.1	47.2	27.8	5.1	4.5	11.9	2.3
	その他	20	50.0	45.0	25.0	30.0	40.0	20.0	5.0	5.0	5.0	5.0
世帯構成	単身世帯	103	49.5	29.1	17.5	30.1	39.8	26.2	5.8	0.0	10.7	1.9
	夫婦だけの世帯	220	49.1	40.9	15.9	31.4	55.9	27.7	6.4	4.5	5.9	1.8
	親と子（中学生以下の子がいる）の世帯（２世代）	183	61.7	44.8	19.7	26.8	52.5	21.3	4.4	6.0	3.3	1.6
	親と子（中学生以下の子がいない）の世帯（２世代）	237	57.0	35.4	22.8	31.6	47.3	24.1	1.7	4.6	5.9	1.3
	親と子と孫（中学生以下の孫がいる）の世帯（３世代）	14	14.3	21.4	7.1	35.7	35.7	42.9	0.0	7.1	14.3	0.0
	親と子と孫（中学生以下の孫がいない）の世帯（３世代）	13	69.2	46.2	7.7	15.4	61.5	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0
	その他の世帯	14	64.3	50.0	21.4	35.7	64.3	35.7	7.1	0.0	14.3	0.0

凡例
- （緑）「無回答」を除いて割合が一番高い回答
- （網掛け）「無回答」を除いて割合が二番目に高い回答

表 2.2.5　最適化に関する認知度別、今後の公共施設の建設や管理・運営

構成比（%）	N=	現在ある施設の複合化・多機能化や集約化を進める	施設の建設や管理運営に、業務委託や民営化など民間活用を進める	近隣自治体と共同で施設を建設、管理・運営する	建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	施設の建設や改修などを実施する際は、内装を華美で豪華なものにせず、必要最低限のものにして、トータルコストを削減する	使用料を徴収する施設を増やしたり、使用料を徴収する施設の使用料を引き上げたりして、維持管理費や運営費に対する施設の使用者の負担を増やす	市税による負担を増やし、維持管理費や運営費を市民全体で負担する	その他	わからない	無回答
合計	794	54.0	38.2	18.8	30.1	50.1	25.1	4.3	4.2	6.8	1.5
知っている	124	58.9	43.5	23.4	37.9	53.2	30.6	4.0	4.0	0.8	0.8
知らない	635	53.2	37.3	18.1	29.3	50.2	23.9	4.4	4.4	8.0	1.3
無回答	35	51.4	34.3	14.3	17.1	37.1	25.7	2.9	0.0	5.7	8.6

凡例 （緑色の網掛け）「無回答」を除いて割合が一番高い回答

表 2.2.6　公共施設の利用状況別、今後の公共施設の建設や管理・運営

構成比（%）	N=	現在ある施設の複合化・多機能化や集約化を進める	施設の建設や管理運営に、業務委託や民営化など民間活用を進める	近隣自治体と共同で施設を建設、管理・運営する	建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する	施設の建設や改修などを実施する際は、内装を華美で豪華なものにせず、必要最低限のものにして、トータルコストを削減する	使用料を徴収する施設を増やしたり、使用料を徴収する施設の使用料を引き上げたりして、維持管理費や運営費に対する施設の使用者の負担を増やす	市税による負担を増やし、維持管理費や運営費を市民全体で負担する	その他	わからない	無回答
合計	794	54.0	38.2	18.8	30.1	50.1	25.1	4.3	4.2	6.8	1.5
行政施設のみを利用した	130	51.5	36.2	15.4	23.8	41.5	19.2	2.3	0.8	10.8	1.5
行政施設以外の公共施設を利用した	565	58.1	40.0	20.9	32.0	55.9	26.9	5.3	5.1	2.8	1.6
公共施設を利用していない	94	35.1	31.9	11.7	28.7	29.8	22.3	1.1	3.2	23.4	0.0
無回答	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0

凡例 （緑色の網掛け）「無回答」を除いて割合が一番高い回答

（６）公共施設の総量（総延床面積）についての考え

（６）今後、財政状況が厳しくなっていくことが見込まれる中で、公共施設の総量（総延床面積）についてはどうお考えですか。最もお考えに近いもの１つに〇印をつけてください。

「市民ニーズなどを検証したうえで、減らす方が良い」56.0%が最も高く、次いで「今ある公共施設は全て必要なので、現状維持する方が良い」18.8%、「わからない」14.1%、「その他」6.7%、「市民生活をより充実させるため、増やす方が良い」2.9%です。

「その他」6.7%で、その内容は「AI 化を促進し、人の手に寄る業務量を抜本的に見直すことで総量を縮小する」、「市民のニーズを良く調査し、不要な部分は減らし、必要な部分は増やす」、「災害時急に必要となるので、面積より機能で判断したい」などでした。

属性別にみると、「80 歳以上」を除き、いずれの属性も「市民ニーズなどを検証したうえで、減らす方が良い」が最も高い。「80 歳以上」では、「今ある公共施設は全て必要なので、現状維持する方が良い」がもっとも高く、他の属性とは差がみられます。

図 2.2.6　今後の公共施設の総量

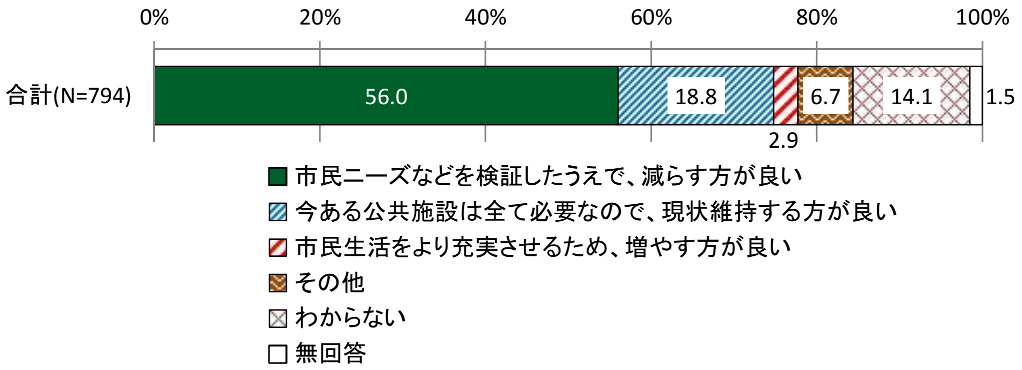


表 2.2.7　年齢・居住地域・居住歴・職業・世帯構成別、今後の公共施設の総量

構成比（%）		N=	市民ニーズなどを検証したうえで、減らす方が良い	今ある公共施設は全て必要なので、現状維持する方が良い	市民生活をより充実させるため、増やす方が良い	その他	わからない	無回答
	合計	794	56.0	18.8	2.9	6.7	14.1	1.5
年齢	１０歳代	9	33.3	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0
	２０歳代	50	58.0	16.0	2.0	8.0	16.0	0.0
	３０歳代	94	71.3	9.6	2.1	7.4	7.4	2.1
	４０歳代	167	61.1	15.0	3.0	7.8	12.0	1.2
	５０歳代	143	62.2	16.8	2.1	7.0	11.2	0.7
	６０歳代	155	54.8	17.4	3.2	9.0	13.5	1.9
	７０歳代	135	41.5	28.1	2.2	3.0	23.7	1.5
	８０歳以上	41	34.1	36.6	7.3	2.4	14.6	4.9
居住地域	JR以南地域	84	45.2	28.6	3.6	6.0	16.7	0.0
	片山・岸部地域	108	51.9	18.5	4.6	7.4	16.7	0.9
	豊津・江坂・南吹田地域	144	59.0	14.6	2.8	6.3	16.0	1.4
	千里山・佐井寺地域	133	54.1	20.3	2.3	6.8	15.0	1.5
	山田・千里丘・万博地域	163	62.6	14.7	2.5	7.4	9.8	3.1
	千里ニュータウン地域	158	57.6	20.3	2.5	6.3	12.0	1.3
居住歴	１年未満	31	54.8	12.9	6.5	6.5	19.4	0.0
	１年以上～５年未満	103	66.0	14.6	2.9	1.9	11.7	2.9
	５年以上～１０年未満	112	60.7	15.2	3.6	8.0	11.6	0.9
	１０年以上～２０年未満	197	51.8	20.8	3.0	10.7	11.7	2.0
	２０年以上～３０年未満	120	55.8	19.2	3.3	5.8	14.2	1.7
	３０年以上	230	53.0	21.3	1.7	5.2	17.8	0.9
職業	会社員	218	68.8	8.7	3.2	9.2	9.2	0.9
	自営業	35	54.3	20.0	0.0	5.7	14.3	5.7
	会社経営者・役員	19	52.6	5.3	0.0	26.3	15.8	0.0
	公務員	26	38.5	26.9	3.8	15.4	15.4	0.0
	家事従事者	132	56.8	19.7	0.8	5.3	15.9	1.5
	パート・アルバイト	143	57.3	21.7	3.5	5.6	10.5	1.4
	学生	22	54.5	27.3	4.5	0.0	13.6	0.0
	無職（家事従事者・学生を除く）	176	42.6	26.7	2.3	3.4	22.7	2.3
	その他	20	60.0	25.0	10.0	5.0	0.0	0.0
世帯構成	単身世帯	103	47.6	27.2	1.9	3.9	17.5	1.9
	夫婦だけの世帯	220	53.6	18.6	3.2	6.8	16.8	0.9
	親と子（中学生以下の子がいる）の世帯（２世代）	183	65.0	11.5	3.8	6.6	11.5	1.6
	親と子（中学生以下の子がいない）の世帯（２世代）	237	57.4	19.8	1.7	8.0	11.0	2.1
	親と子と孫（中学生以下の孫がいる）の世帯（３世代）	14	50.0	28.6	0.0	14.3	7.1	0.0
	親と子と孫（中学生以下の孫がいない）の世帯（３世代）	13	38.5	15.4	23.1	0.0	23.1	0.0
	その他の世帯	14	64.3	14.3	0.0	7.1	14.3	0.0

凡例　（緑色）「無回答」を除いて割合が一番高い回答

表 2.2.8　最適化の取り組みに関する認知度別、今後の公共施設の総量

構成比（%）	N=	市民ニーズなどを検証したうえで、減らす方が良い	今ある公共施設は全て必要なので、現状維持する方が良い	市民生活をより充実させるため、増やす方が良い	その他	わからない	無回答
合計	794	56.0	18.8	2.9	6.7	14.1	1.5
知っている	124	54.0	29.0	2.4	7.3	5.6	1.6
知らない	635	56.7	16.4	3.0	6.6	15.9	1.4
無回答	35	51.4	25.7	2.9	5.7	11.4	2.9

凡例　（着色）「無回答」を除いて割合が一番高い回答

表 2.2.9　公共施設の利用状況別、今後の公共施設の総量

構成比（%）	N=	市民ニーズなどを検証したうえで、減らす方が良い	今ある公共施設は全て必要なので、現状維持する方が良い	市民生活をより充実させるため、増やす方が良い	その他	わからない	無回答
合計	794	56.0	18.8	2.9	6.7	14.1	1.5
行政施設のみを利用した	130	57.7	16.2	2.3	4.6	16.2	3.1
行政施設以外の公共施設を利用した	565	56.1	21.4	2.8	7.6	10.8	1.2
公共施設を利用していない	94	55.3	6.4	4.3	4.3	28.7	1.1
無回答	5	20.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0

凡例　（着色）割合が 1 番高い

（７）公共施設のあり方

（７）公共施設の今後のあり方を検討するうえで、維持・充実や廃止・縮小をすべき公共施設、また、民間活用として、業務委託や民営化、民間施設の利用などを進めるべき公共施設はあると思いますか。
「ア　維持・充実すべき施設機能・施設」、「イ　廃止・縮小すべき施設機能・施設」、「ウ　民間活用として、業務委託や民営化、民間施設の利用などを進めるべき施設機能・施設」についてお答えください。
「別紙 施設機能及び施設の一覧表」より、Ａ 施設機能の番号（1～13）とＢ 施設の番号（①～56）を３つ以内で選び、選択した理由をご記入ください。
※回答は１つ目、２つ目、３つ目の回答欄に記入

※本アンケートは、公共施設の今後のあり方を検討する基礎資料として、市民の皆様の御意見を今後の取り組みの参考とさせていただくために実施したものであり、この実施結果のみをもって、各施設の存廃等を方向付けるものではありません。
※１つ目、２つ目、３つ目の回答数を平均した構成比(%)を記載しています。(N=794)

ア 維持・充実すべき施設機能・施設

最も構成比が高い施設機能は「行政施設機能」14.3％で、次いで「学校施設機能」7.4％、「児童福祉施設機能」7.3％、「生涯学習施設機能」6.0％、「保健・医療施設機能」5.5％、「高齢者・障がい者支援施設機能」5.2％、「スポーツ施設機能」5.1％であり、その他の施設機能については、5.0％未満でした。

「行政施設機能」を選択した理由については、「市民生活に必要」「行政の中心的存在である」「市民がよく利用する」などがありました。

また、施設機能の選択のほか、施設の選択の回答があった中では、「市役所」5.7％で、その他の施設については、5.0％未満でした。

イ 廃止・縮小すべき施設機能・施設

最も構成比が高い施設機能は「特定テーマ施設機能」16.9％で、その他の施設機能については、5.0％未満でした。

「特定テーマ施設機能」を選択した理由については、「どの施設も使用したことがないので」「利用している人が少ない」「何をしているのかわからない」などがありました。

また、施設機能の選択のほか、施設の選択の回答については、全て 5.0％未満でした。

ウ　民間活用として、業務委託や民営化、民間施設の利用などを進めるべき施設機能・施設

最も構成比が高い施設機能は「スポーツ施設機能」8.2％で、その他の施設機能については、5.0％未満でした。

「スポーツ施設機能」を選択した理由については、「委託や民営化は効率運営になる」「外部委託する方がもっと活用されるのでは」「運営するためのノウハウは民間の方が豊富」などがありました。

また、施設機能の選択のほか、施設の選択の回答については、全て 5.0％未満でした。

3　公共施設の複合化･多機能化について［調査票（8）～（11）］

（８）複合化･多機能化を進めるために重視すべき項目

（８）公共施設の最適化における取り組みの１つである複合化・多機能化を進めるにあたって、あなたはどの項目を重視すべきと思いますか。（複数回答可）

「異なる機能を持つ施設の相性を検討した上で、相性の良い機能を持つ施設同士を複合化・多機能化し、利便性を向上させる」58.8%が最も高く、次いで「交通の便が良い場所に立地する」36.5%、「ロビー、通路、設備などを共用化し、施設規模の縮小を図り、維持管理費を減らす」33.8%、「施設利用者間が交流できるスペースをつくり、他の施設を利用する人と交流できるようにする」16.6%です。

「その他」4.5%で、その内容は「ごまかしを止めて、人件費を含めた維持管理費を提示して廃止を提言すべき」、「複合化の場合、近くの施設がなくなる可能性もあるので、送迎バスなど移動手段を考慮する」、「職員の人数の最適化、シルバーさん、ボランティアさんにお願いする」、「ユニバーサルおよびバリアフリー化の促進」などでした。

公共施設の利用状況別では、「行政施設以外の公共施設を利用した」と回答した方は、「行政施設のみを利用した」や「公共施設を利用していない」よりも回答率が高い傾向がみられます。公共施設への関心の高さが表れています。

図 2.3.1　複合化・多機能化を進めるにあたって重視すべき項目

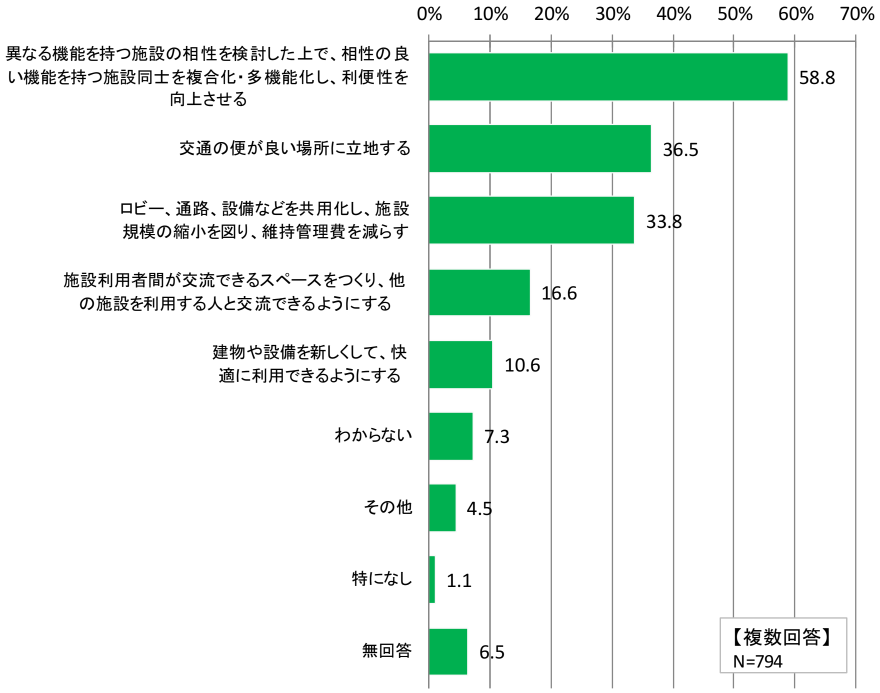


表 2.3.1　最適化の取り組みに関する認知度別、複合化・多機能化を進めるにあたって重視すべき項目

構成比（%）	N=	ロビー、通路、設備などを共用化し、施設規模の縮小を図り、維持管理費を減らす	異なる機能を持つ施設の相性を検討した上で、相性の良い機能を持つ施設同士を複合化・多機能化し、利便性を向上させる	施設利用者間が交流できるスペースをつくり、他の施設を利用する人と交流できるようにする	建物や設備を新しくして、快適に利用できるようにする	交通の便が良い場所に立地する	その他	特になし	わからない	無回答
合計	794	33.8	58.8	16.6	10.6	36.5	4.5	1.1	7.3	6.5
知っている	124	33.9	61.3	21.8	15.3	33.1	6.5	1.6	1.6	4.8
知らない	635	34.2	58.1	16.2	9.8	37.6	4.4	1.1	8.5	6.6
無回答	35	25.7	62.9	5.7	8.6	28.6	0.0	0.0	5.7	11.4

凡例　（網掛け）「無回答」を除いて割合が一番高い回答

表 2.3.2　公共施設の利用状況別、複合化・多機能化を進めるにあたって重視すべき項目

構成比（%）	N=	ロビー、通路、設備などを共用化し、施設規模の縮小を図り、維持管理費を減らす	異なる機能を持つ施設の相性を検討した上で、相性の良い機能を持つ施設同士を複合化・多機能化し、利便性を向上させる	施設利用者間が交流できるスペースをつくり、他の施設を利用する人と交流できるようにする	建物や設備を新しくして、快適に利用できるようにする	交通の便が良い場所に立地する	その他	特になし	わからない	無回答
合計	794	33.8	58.8	16.6	10.6	36.5	4.5	1.1	7.3	6.5
行政施設のみを利用した	130	27.7	57.7	14.6	4.6	33.1	2.3	0.8	12.3	6.2
行政施設以外の公共施設を利用した	565	35.8	62.3	17.2	12.7	38.4	5.3	0.9	3.7	6.2
公共施設を利用していない	94	31.9	42.6	17.0	6.4	30.9	3.2	3.2	20.2	7.4
無回答	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	40.0

凡例　（網掛け）「無回答」を除いて割合が一番高い回答

（９）公共施設の複合化･多機能化における、施設機能･施設の組合せ

（９）公共施設を複合化・多機能化する場合、どのような施設機能や施設を組み合わせるのが良いと思いますか。「別紙 施設機能及び施設の一覧表」より、良いと思う順に３つ以内で組み合わせを選び、Ａ 施設機能の番号（1～13）、Ｂ 施設の番号（①～㊷、㊺～㊻）、良いと思う理由をご記入ください。
Ａ 施設機能の番号 と Ｂ 施設の番号は、どちらかのみのご記入でも結構です。また、該当する組み合わせがない場合は、ご記入いただかなくても結構です。
※回答は１番目、２番目、３番目の回答欄に記入

※回答数に対して１番目は３点、２番目は２点、３番目は１点の重みをつけて加重平均した構成比(%)を記載しています。(N=794)

施設機能の組み合わせは、「児童福祉施設機能」と「子育て支援施設機能」4.3%が最も高く、全て 5.0%未満でした。

「児童福祉施設機能」と「子育て支援施設機能」の組み合わせを選択した理由については、「子ども関連で連携できるから」「利用する親の負担軽減」「幼児から全ての子供が一つになれる場」などがありました。

また、施設機能の組み合わせの選択のほか、施設の組み合わせの選択の回答については、全て 5.0%未満でした。

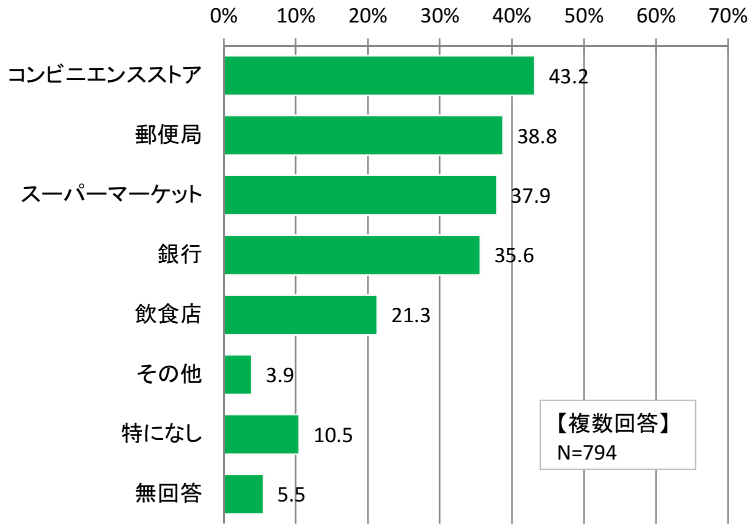
（10）居住地域や駅周辺の公共施設に併設する民間施設

（10）お住まいの地域やご利用される駅周辺などで、公共施設と民間施設を併設する場合、どのような民間施設があれば良いと思いますか。（複数回答可）

「コンビニエンスストア」43.2％が最も高く、次いで「郵便局」38.8％、「スーパーマーケット」37.9％、「銀行」35.6％、「飲食店」21.3％です。

「その他」3.9％で、その内容は「病院」、「図書館のある建物と同じしき地内にカフェ」、「あずかり保育」などでした。

図 2.3.2　公共施設と民間施設を併設する場合に、あれば良いと思う民間施設



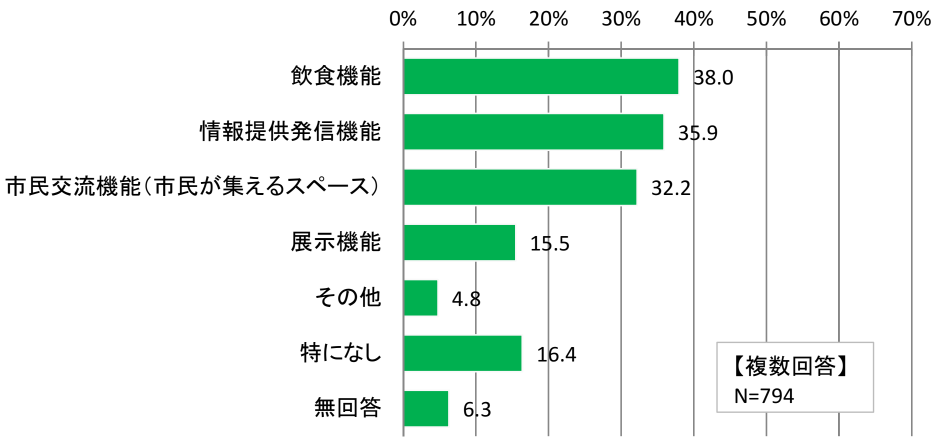
（11）公共施設の共用スペースにおける多機能化で導入が望ましい機能

（11）公共施設のロビー等の共用スペースにおいて、１つの施設に複数の機能を持たせる多機能化を図る場合、どのような機能があれば良いと思いますか。（複数回答可）

「飲食機能」38.0％が最も高く、次いで「情報提供発信機能」35.9％、「市民交流機能（市民が集えるスペース）」32.2％です。

「その他」4.8％で、その内容は「子育ての悩み、生活のこと相談できるコーナー」、「演奏スペース」、「Wi-fi 利用可能スペース」などでした。

図 2.3.3　公共施設の共用スペースにあれば良いと思う機能



4　小・中学校の複合化・多機能化について [調査票（12）～（15）]

（12）小・中学校の複合化・多機能化についての判断

（12）全国の小・中学校では、右ページ「説明６．小・中学校の複合化・多機能化について」のように学校の余裕教室を活用し、学校教育以外の目的で、地域の方が利用している事例があります。このことについてどう思いますか。また、反対の場合はその理由も記入してください。

「賛成」32.9％と「用途・内容によっては賛成」45.7％を合わせた『賛成』は78.6％です。「反対」は5.5％です。

「反対」の理由は、「不特定多数の人の出入りがあり、児童の安全が確保できない」、「防犯面で心配がある。学校側（教職員）への負担が増える」、「教育の場だから専念させてほしい」などがありました。

公共施設の最適化の取り組みに関する認知度別では、各項目とも顕著な差はみられません。

学校施設の利用状況別では、「学校施設を利用した」方は、「用途・内容によっては賛成」、「反対」が「学校施設を利用していない」方に比べて高くなっていますが、「学校施設を利用した」方は通学している子どもたちの保護者等の立場にあるため、学校の複合化・多機能化に対してやや慎重な態度をとっていると思われます。

図 2.4.1　小・中学校の複合化・多機能化

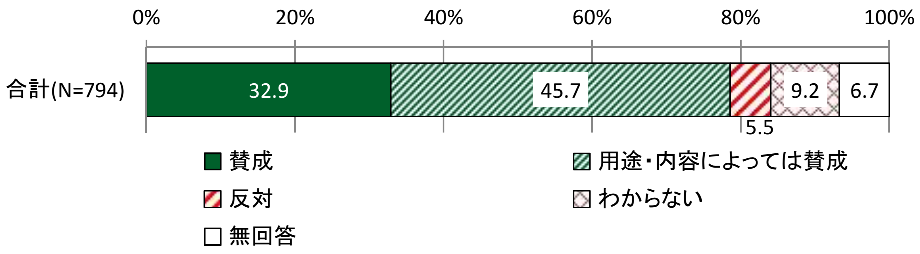


表 2.4.1　最適化の取り組みに関する認知度別、
小・中学校の複合化・多機能化

構成比（%）	N=	賛成	用途・内容によっては賛成	反対	わからない	無回答
合計	794	32.9	45.7	5.5	9.2	6.7
知っている	124	39.5	45.2	4.8	4.8	5.6
知らない	635	31.8	47.2	5.5	10.2	5.2
無回答	35	28.6	20.0	8.6	5.7	37.1

凡例　「無回答」を除いて割合が一番高い回答

表 2.4.2　学校施設の利用状況別、小・中学校の複合化・多機能化

構成比（%）	N=	賛成	用途・内容によっては賛成	反対	わからない	無回答
合計	794	32.9	45.7	5.5	9.2	6.7
学校施設を利用した	209	31.6	51.2	10.0	3.8	3.3
学校施設を利用していない	580	33.6	44.0	4.0	11.0	7.4
無回答	5	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0

凡例　「無回答」を除いて割合が一番高い回答

（13）余裕教室を活用した場合のメリット（利点）

（13）小・中学校の余裕教室を活用した場合のメリット（利点）として何が考えられると思いますか。（複数回答可）

小・中学校の複合化・多機能化について「賛成」と「用途・内容によっては賛成」と回答した方（N=624）のうち、「施設を有効に利用できる」81.3%が最も高く、次いで「施設利用者による子どもに対する見守りの目が増えるので防犯につながる」44.2%、「児童・生徒と施設利用者が交流できる」36.7%です。

「その他」2.9%で、その内容は「11 ページの事例 1 の地区公民館と一緒にすれば、公民館の建物維持費削減につながってとてもいいと思う。」、「学校は地域によって育てられる。地域の人にも学校に興味をもってもらえる」、「問題視されている「イジメ」等、大人の目があれば減少するのでは」などでした。

図 2.4.2　余裕教室を活用した場合のメリット（利点）

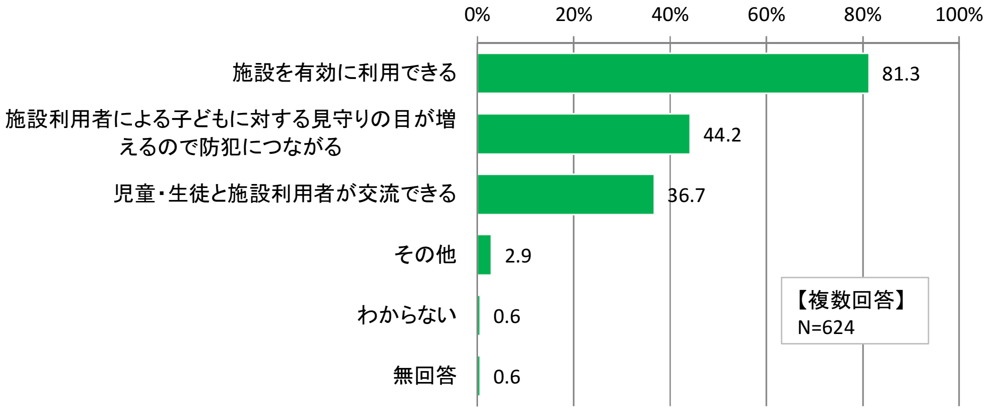


表 2.4.3　学校施設の利用状況別、余裕教室を活用した場合のメリット（利点）

構成比（%）	N=	施設を有効に利用できる	児童・生徒と施設利用者が交流できる	施設利用者による子どもに対する見守りの目が増えるので防犯につながる	その他	わからない	無回答
合計	624	81.3	36.7	44.2	2.9	0.6	0.6
学校施設を利用した	173	82.7	38.2	43.4	2.9	1.2	0.6
学校施設を利用していない	450	80.9	36.2	44.7	2.9	0.2	0.7
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

凡例　「無回答」を除いて割合が一番高い回答

（14）余裕教室を活用した場合の配慮

（14）小・中学校の余裕教室を活用する場合、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。（複数回答可）

小・中学校の複合化・多機能化について「賛成」と「用途・内容によっては賛成」と回答した方（N=624）のうち、「防犯面で、児童・生徒と施設利用者の動線（移動する経路）を分離する」62.2%が最も高く、次いで「音、振動などが相互の活動に支障とならないための対策をとる」56.9%、「児童・生徒と施設利用者の交流場所をつくる」28.0%です。

「その他」7.7%で、その内容は「あくまで、小中学校が最優先であることを徹底する」、「交流はしてよいが防犯面でのフォローが必要（防犯カメラ、管理人など）」、「事故などがあった場合の対処、責任など」などでした。

図 2.4.3　余裕教室を活用する場合に配慮すべき項目

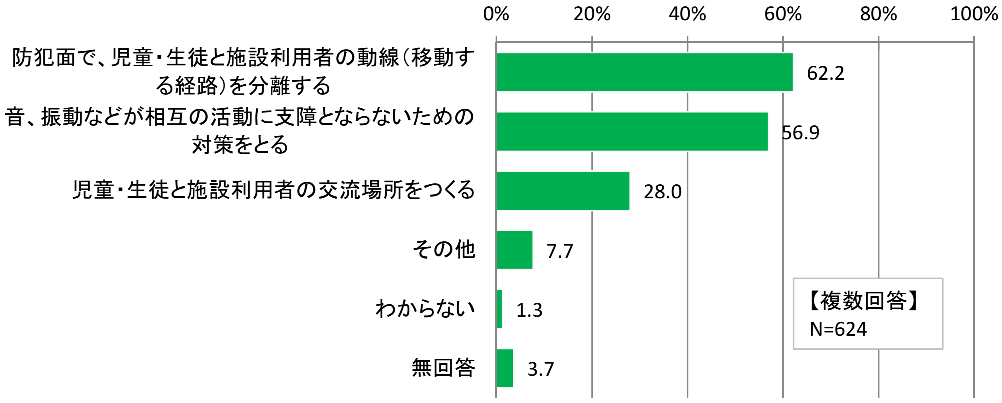


表 2.4.4　学校施設の利用状況別、余裕教室を活用する場合に配慮すべき項目

構成比（%）	N=	音、振動などが相互の活動に支障とならないための対策をとる	防犯面で、児童・生徒と施設利用者の動線（移動する経路）を分離する	児童・生徒と施設利用者の交流場所をつくる	その他	わからない	無回答
合計	624	56.9	62.2	28.0	7.7	1.3	3.7
学校施設を利用した	173	50.9	60.7	28.3	8.7	0.6	4.0
学校施設を利用していない	450	59.3	62.9	28.0	7.3	1.3	3.6
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

凡例　（色付きセル）「無回答」を除いて割合が一番高い回答

（15）小・中学校の複合化・多機能化において導入が望ましい施設機能・施設

（15）どのような施設機能や施設が小・中学校に複合化・多機能化されれば良いと思いますか。「別紙 施設機能及び施設の一覧表」より、良いと思う順に５つ以内で選び、Ａ 施設機能の番号（1～13）、Ｂ 施設の番号（①～㊷、㊺～56）と良いと思う理由をご記入ください。

※回答は１番目、２番目、３番目、４番目、５番目の回答欄に記入

※回答数に対して１番目は５点、２番目は４点、３番目は３点、４番目は２点、５番目は１点の重みをつけて加重平均した構成比(%)を記載しています。(N=624)

小・中学校の複合化・多機能化について「賛成」と「用途・内容によっては賛成」と回答した方（N=624）のうち、最も構成比が高い施設機能は「児童福祉施設機能」10.1%で、次いで「生涯学習施設機能」8.2%、「子育て支援施設機能」8.0%、「生きがい活動施設機能」5.5%であり、その他の施設機能については、5.0%未満でした。

「児童福祉施設機能」を選択した理由については、「兄弟のいる保護者の利便性が向上する」「相乗効果がありそう」「余裕教室でイベントができそうだから」などがありました。

また、施設機能の選択のほか、施設の選択の回答については、全て 5.0%未満でした。

5　貸室機能の整理について［調査票（16）］

（16）施設の集約化における貸室機能のあり方

（16）利用料金、広さや設備などはそれぞれ異なり、利用状況にも違いがあります。公共施設の最適化を進めるにあたって、貸室機能のある施設を集約することも考えられますが、今後、貸室機能についてはどうすべきと思いますか。

「貸室機能のある施設は計画的に集約を進め、貸室機能は共用する」44.6%が最も高く、次いで「わからない」16.4%、「施設にはそれぞれに役割があるので、それぞれの施設を存続させ、貸室機能もそのままにする」13.9%、「貸室機能のある施設は計画的に集約を進めるが、貸室機能は共用せず、施設内で独立させる」9.6%です。

「その他」3.3%で、その内容は「活動（実質的）率を100%に近づけていくと、市の収益にもなるのでは？」、「貸せるスペースあるから貸すのでなく、他の施設と統合を」、「貸室機能は共用と独立と併用してもいいと思う。それぞれの施設を存続させるのはコストがかかりすぎるし、共同、独立どちらかだけにしてしまうと、利用者は意見を出してくると思う」、「利用料金が高くなっている。昔のような割引き制度も無くなった。市民が使い易くなるような施策が必要」などでした。

図 2.5.1　今後の貸室機能について

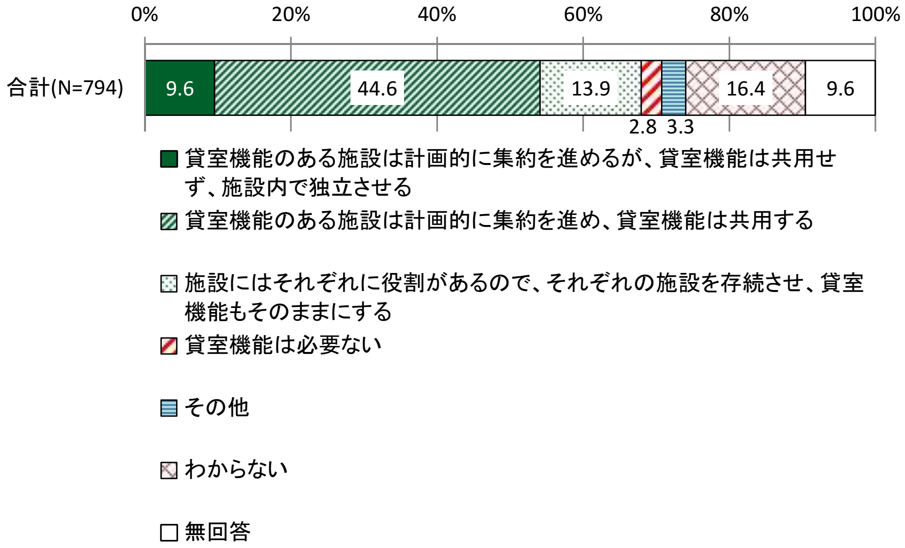


表 2.5.1　公共施設の総量についての考え方別、今後の貸室機能について

構成比（%）	N=	貸室機能のある施設は計画的に集約を進めるが、貸室機能は共用せず、施設内で独立させる	貸室機能のある施設は計画的に集約を進め、貸室機能は共用する	施設にはそれぞれに役割があるので、それぞれの施設を存続させ、貸室機能もそのままにする	貸室機能は必要ない	その他	わからない	無回答
合計	794	9.6	44.6	13.9	2.8	3.3	16.4	9.6
市民ニーズなどを検証したうえで、減らす方が良い	445	10.6	53.9	8.5	2.9	2.9	12.6	8.5
今ある公共施設は全て必要なので、現状維持する方が良い	149	11.4	37.6	26.2	1.3	1.3	12.8	9.4
市民生活をより充実させるため、増やす方が良い	23	8.7	21.7	30.4	0.0	13.0	17.4	8.7
その他	53	5.7	41.5	22.6	1.9	7.5	11.3	9.4
わからない	112	5.4	23.2	12.5	4.5	1.8	39.3	13.4
無回答	12	8.3	41.7	0.0	8.3	16.7	8.3	16.7

凡例　（色付きセル）「無回答」を除いて割合が一番高い回答

表 2.5.2　公共施設の最適化の認知度別、今後の貸室機能について

構成比（%）	N=	貸室機能のある施設は計画的に集約を進めるが、貸室機能は共用せず、施設内で独立させる	貸室機能のある施設は計画的に集約を進め、貸室機能は共用する	施設にはそれぞれに役割があるので、それぞれの施設を存続させ、貸室機能もそのままにする	貸室機能は必要ない	その他	わからない	無回答
合計	794	9.6	44.6	13.9	2.8	3.3	16.4	9.6
知っている	124	15.3	49.2	16.9	0.0	2.4	4.8	11.3
知らない	635	8.5	43.5	13.4	3.5	3.5	18.9	8.8
無回答	35	8.6	48.6	11.4	0.0	2.9	11.4	17.1

凡例　（緑色）「無回答」を除いて割合が一番高い回答

表 2.5.3　公共施設の利用状況別、今後の貸室機能について

構成比（%）	N=	貸室機能のある施設は計画的に集約を進めるが、貸室機能は共用せず、施設内で独立させる	貸室機能のある施設は計画的に集約を進め、貸室機能は共用する	施設にはそれぞれに役割があるので、それぞれの施設を存続させ、貸室機能もそのままにする	貸室機能は必要ない	その他	わからない	無回答
合計	794	9.6	44.6	13.9	2.8	3.3	16.4	9.6
行政施設のみを利用した	130	9.2	34.6	10.0	3.1	5.4	26.9	10.8
行政施設以外の公共施設を利用した	565	9.6	49.7	15.2	1.9	2.7	11.9	9.0
公共施設を利用していない	94	10.6	28.7	11.7	7.4	4.3	27.7	9.6
無回答	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0

凡例　（緑色）「無回答」を除いて割合が一番高い回答

6　その他［調査票（22）～（23）］

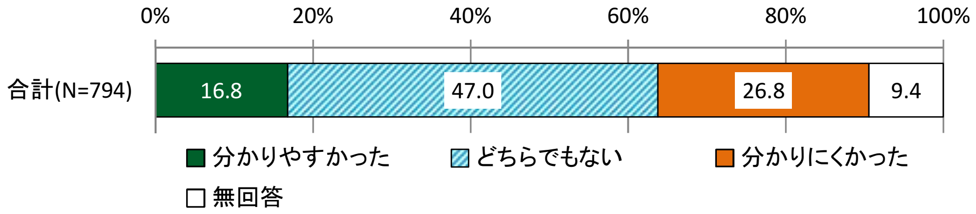
（17）アンケートの説明や質問・選択肢に対する分かりやすさ

（22）本アンケートの説明や質問・選択肢は分かりやすかったですか。分かりにくかった場合は、どの部分が分かりにくかったかをご記入ください。

「どちらでもない」47.0％が最も高く、「分かりにくかった」26.8％に対して「分かりやすかった」16.8％で、10.0 ポイント低いです。

分かりにくかった理由は、「すべての施設がわからないため、どれとどれがときかれてもピンとこない。説明文がほしかった」、「たくさんの施設があって、その機能を十分に理解しているわけではないので」、「ほとんどの施設を利用したことがないので、機能が具体的に分からず、回答しにくかった」、「各施設がどれ位利用されているかわからない」「公共施設の利用が少なく、実況が把握できていないので、どう回答して良いか判断に迷ったことが多い」「使用されている言葉自体、年寄りにはわかりにくい」、「質問が長すぎるし聞きなれない言葉が多くて理解しづらかった」、「特定テーマ施設機能が良くわからない」、「文章が長くて読みにくかった」などがありました。

図 2.6.1　説明等の難易度



（18）公共施設についてのご意見

（23）その他、公共施設についてご意見がありましたら、ご記入ください。

「公共施設について」などのご意見を 262 名の方から回答いただきました。

ご意見は、1. 公共施設の管理・運営、2. 小中学校の複合化・多機能化、3. 貸室機能の整理、4. 公共サービス、5. 交通サービス、6. 福祉、7. 地域活性化、8. 情報共有、9. 情報発信、10. アンケート、11. その他の１１のカテゴリーで分類しました。

表 2.6.1　公共施設についてのご意見

	カテゴリー	件数	主な内容
1	公共施設の管理・運営	100	○あまりに利用者が少ない施設や必要性が疑問視されるような施設は縮小するなり廃止するなりした方が良いと思う。また全体的にある程度利用料金を取るとか少し金額を上げるとかいうことはしていかないと、存続させていくのは難しくなると思う ○公共施設の人件費も多いと思うので集約し、コストをおさえるべきだと思う。施設の一覧表を見ても、何をしている所なのか調べないとわからないぐらい利用していない ○小中学校の老朽化した校舎は新しくしてほしい。子どもの命を守るためには、学校は一番安全であるべき場所だと思います ○縮小可能な利用の少ない施設から、今後も充実していく必要のある施設もあり、しっかり見極めてほしいと思います ○土地や建物などの資産を効率的に利用することは民間では当然のことです。市といえども、経営効率を高める努力をして頂ければ幸いです ○公共施設の整理については、ターゲットとする世帯層別に分類して考えるべきと思う。地域によって居住者の性質もかなり異なるので、そういった整理も必要 ○今あるハード面等、不必要なものの見直しは必要。しかし、必要であると確固たるものは削減できない。上手く共用できるところがあれば、上手く活用する事が大事かと思う

4	公共サービス	58	○子育て支援施設、児童福祉施設はよく利用しているが、やはり老朽化しており、使いづらい。使えるが利用をためらうものもある。千里丘エリアは特に大規模マンションが増え、子育て世代の流入も多いが、なかなか子どもを安心して室内で遊ばせる場所もなく、とても不便に感じています。のびのび子育て広場のようなスポットをぜひ増やしてほしいです ○老人のための施設が多すぎる。働く世代のための施設を増やしてほしい ○大規模施設について、「公共」であるので、集約化により地域格差がでないようにして欲しい。やむを得ずそうなった場合でも、巡回バス等を整備し、できるだけどのエリアの市民でも等しく利用しやすいように心がけて欲しい。「人生 100 年」「高齢化社会」の中、小規模コミュニティ（相助活動）も必要であり、その活動、つながりの拠点となる小規模施設の充実についてもバランス良く考えて欲しい
11	その他	40	○利用している施設は決まっていて、全体のことはよくわかっていません。こういう問題意識を持って、これから考えていこうと思いました ○単身 40 代でなかなか公共施設は利用しないので、想像のつかない事もたくさんありましたが、吹田の住人であるとあらためて認識しました ○子供連れ、ベビーカーで利用しにくい。子育てで有名な吹田でも、母親や子供たちへの対応が厳しく、出産を悩む人が多い。貼り紙等で地域全体で子供への理解を求められるといいと思う
10	アンケート	24	○アンケートの目的が不明確。説明不足 ○わかりにくい点はなかったが回答に対して負担感がある。説明と質問事項、すいたんのコメントに誘導の意図を感じざるをえない。アンケート送付対象者の集団が年齢、地域などにかたよりなく適正なものであるか分からず信頼しづらい。7-アに書ききれなかったが、博物館によりアクセスしやすくしてほしい ○文字だけでは利用していない人からはどんな施設か理解できず、アンケートには答えるのが難しい。このアンケートの内容は一方的な押しつけの形になっている。地図、写真で検討すべき

9	情報発信	18	○それぞれの施設がどのような役割を担っているのかわからないものもあったので、選択する場合に困った ○もっと情報発信の手段、方法に工夫、努力すべき。専門の課を作って職員を置いてアイデアを集めて実施して下さい ○吹田市にこんなに沢山の公共施設があるとは知りませんでした。もっとＰＲして頂ければと思います
6	福祉	8	○公共施設ではありませんが、駅のバリアフリー化（もっと使いやすく）を希望する日々です ○いろいろな問題があると思います。体が動かなくなっての施設やたすけは必要大ですが、予防ができることを考えていただきたい。施設はあってもそこまで行けないことや買い物がむずかしいところには昔ながらの移動する施設（食料、日用品）があると顔をあわせるチャンスができて安全かくにんなどが充実するのではないかと思う。小さな子どもたちも集まる場所、小さな子どもたちを育てながら共働きする世帯を守ってあげていただきたい
5	交通サービス	7	○施設だけでなく、周辺の交通状況なども考慮して利用者の安全を保てるようにしていただきたいと思います
2	小中学校の複合化・多機能化	3	○小中学校の複合化・多機能化について、用途・内容によっては賛成と回答しましたが、防犯上の観点、災害発生時等の対応の観点から、施設利用者が子ども達と接触する機会は基本的にないようにすべきと考えます。また、本調査において説明部分でメリット面の記載がありますが、デメリット面についても記載があると良いと思います
8	情報共有	2	○吹田市には多くのマンション及び町内会があります。各マンション及び町内会の理事長、会長に各々の住民たちの意見をまとめてもらうのも一手だと思います
3	貸室機能の整理	1	○市民センターなど空室のままではもったいないと思います。当日・前日〆切の勉強ルームとして安価に机ベースでの貸し出しもよいと思います。吹田市の貸室機能のある施設をネットで予約できたり（料金は７日以内の支払いなど）、他の市内サービスの真似をして欲しいです
7	地域活性化	1	○JR 千里丘駅周辺の充実をはかってほしい（摂津市にあるため、吹田市の施設が貧弱に思う）。出張所の機能を充実してほしい（他の施設はふやさなくてよいので、本庁のみの受付等を出張所でもできるようにしてほしい）

公共施設に関する市民アンケート

≪ご協力をお願いします≫

平成３０年１０月
吹田市行政経営部資産経営室

市民の皆様には、日頃から市政の推進にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本市では、多くの公共施設で老朽化が進み、今後は施設の更新や大規模な改修が集中的に発生することが予想される一方で、少子高齢化が進み、社会保障費（年金、医療や介護などに掛かる費用）の増大や生産年齢人口（15～64 歳）の減少による市税収入の減少が予測されることから、**限られた予算のもとで効率的かつ効果的に公共施設の管理や運営をする必要があります。**

こういった状況を背景に、本市では、**公共施設の複合化・多機能化や民間活用などにより施設の効率性や利用者の利便性の向上を図るなど、公共施設の最適化**に向けた取り組みを進めています。

市民の皆様のご意見を、今後の上記取り組みの参考とさせていただくため、「公共施設に関する市民アンケート」を実施することとしました。市民の皆様から、無作為に 2000 名を選び、本アンケートをお送りしています。

お忙しいところ恐縮ですが、ご協力をお願い致します。

≪ご記入にあたってのお願い≫

１．あて名の方がお答えください。なお、ご本人が病気や長期不在等の理由でご記入できない場合は、返送不要です。
２．調査は無記名です。調査票、返信用封筒には氏名・住所等は書かないでください。また、ご意見に対して個別の対応はできませんので、ご了承ください。
３．回答は選択肢を選び、番号に〇印をつけてください。「その他（　　）」を選択された場合は、番号に〇印をつけ、可能な範囲で具体的にご記入ください。
４．答えにくい質問には、お答えいただかなくても結構です。
５．ご記入後、「調査票」と「別紙 施設機能及び施設の一覧表」を返信用封筒に入れ、**平成 30 年 10 月 29 日（月）**までに投函してください。切手は不要です。

※ご記入の内容は、本調査以外の目的に使用いたしません。
調査票の様式とアンケート結果は、本市の HP に公開致します。

＜お問い合わせ先＞ 吹田市 行政経営部 資産経営室 最適化グループ
ＴＥＬ：０６−６３８４−１９１４
ＦＡＸ：０６−６３６８−７３４３
mail：kentiku@city.suita.osaka.jp

調査票
平成30年10月

公共施設に関する市民アンケート

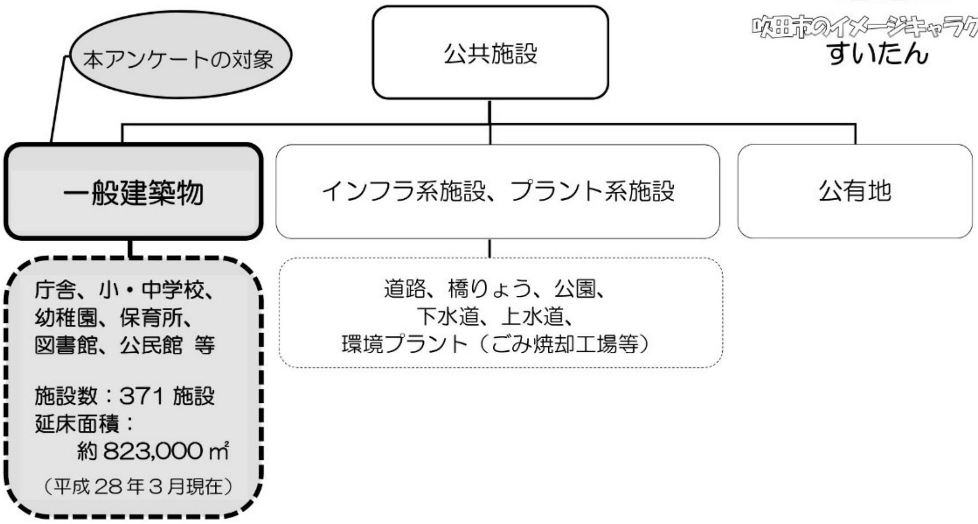
アンケートにお答えいただく前に、公共施設の現状と課題、公共施設の最適化の取り組みについて説明させていただきます。

説 明1．公共施設とアンケートの対象

本市の公共施設は次のように分類しています。
このアンケートで対象とする公共施設は、学校や公民館といった建物系の公共施設である、「一般建築物」です。

公共施設っていろんな種類があって、このアンケートの対象は、学校や公民館といった建物系の公共施設である、「一般建築物」なんだ。

吹田市のイメージキャラクター
すいたん



☆ 公共施設の最適化って何？ ☆

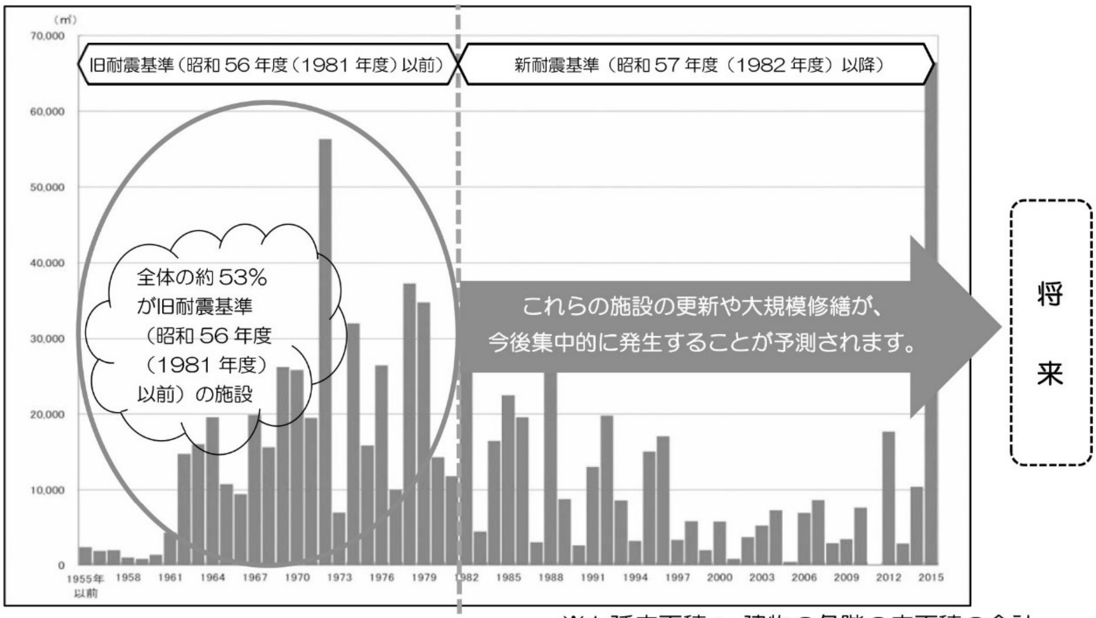
市が保有する公共施設について、人口動向の変化や各施設の老朽化などに対応しながら、限られた予算の中で最適な整備・再配置・維持保全などをおこなうこと。

説 明２．公共施設の更新、大規模修繕時期の集中と市税収入の減少

本市の公共施設の多くが、昭和 30 年～50 年代に建設され、今後、施設の更新や大規模修繕が集中的に発生することが予測される一方で、少子高齢化が進み、社会保障費の増大や生産年齢人口の減少による市税収入の減少が予測されます。

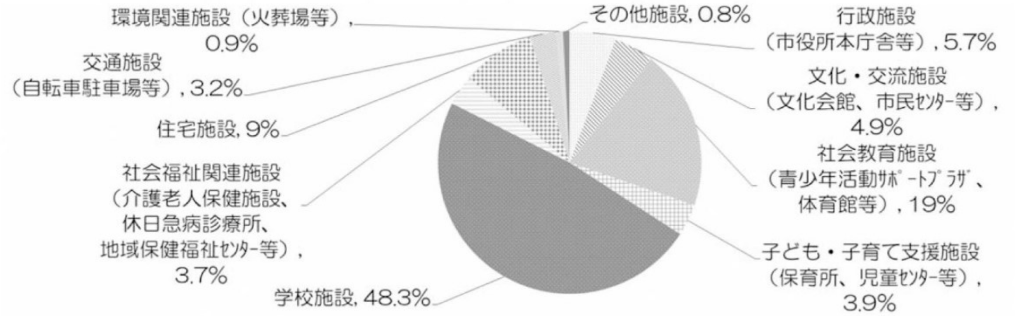
限られた予算のもとで効率的かつ効果的に公共施設の管理や運営をする必要があります。

市の公共施設(一般建築物)の完成年度別延床面積※1 のグラフ（平成 28 年３月現在）



※1 延床面積： 建物の各階の床面積の合計

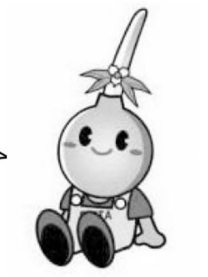
一般建築物の用途分類別構成比



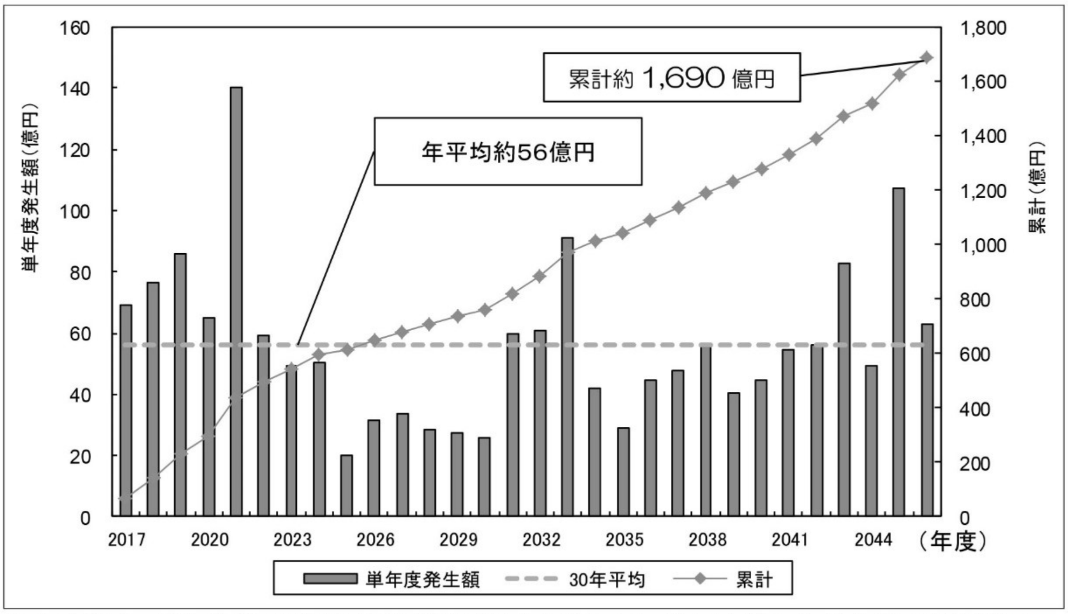
説 明３．公共施設の修繕更新・建替にともなう費用試算

一般建築物の修繕更新・建替に必要な費用について 30 年間を試算すると、累計で約 1,690 億円、年平均では約 56 億円となります。

全ての一般建築物を維持するには、こんなにも費用が掛かるんだね！
このままじゃ適切に修繕ができなくなるんじゃない？



一般建築物の修繕更新・建替費用の試算（30 年間）



※本試算は、現行施設の延床面積を維持すると仮定して、吹田市第３次総合計画実施計画、「平成１７年版建築物のライフサイクルコスト（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」を基にした推計等の内容から試算したものです。今後は、更新時の適正な規模や機能への見直しなどを踏まえ、適宜見直しを行います。

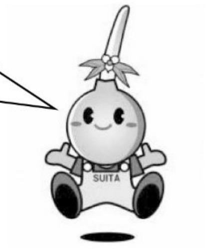
～ 本市の公共施設の最適化の取組方針 ～

公共施設の最適化では、総合的・計画的な維持保全に取り組み、市民が安心して快適に使える公共施設をめざします。また、市民ニーズ・地域特性に柔軟に対応するために公共サービス提供のあり方を検討し、施設の複合化・多機能化や有効活用に取り組みます。あわせて施設総量（一般建築物の総延床面積）の最適化や、修繕更新・建替費用の抑制などに取り組み、健全な財政状態の維持を図ります。

説 明４．公共施設の最適化の取り組み

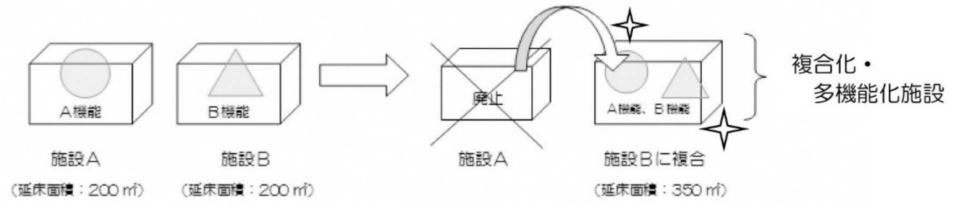
公共施設の最適化の主な取り組みとして、「複合化・多機能化」、「集約化」、「長寿命化」があります。それぞれについて説明します。

複合化・多機能化は維持管理費を減らすだけじゃなくて、１つの土地・建物で複数の機能が利用できて、もっと便利になるんだ！
長寿命化は施設を長持ちさせることで、トータルコスト※2 が減るんだ！



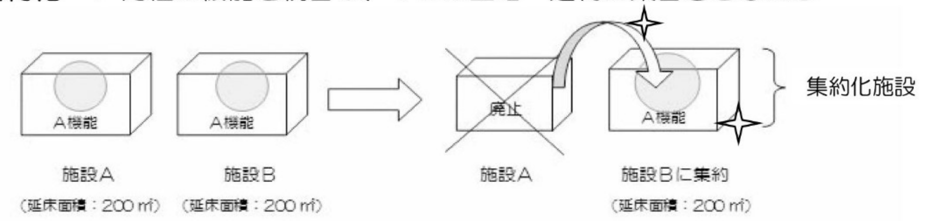
※2 トータルコスト：建設から解体にいたるまでのその施設にかかる費用

◆複合化 ⇒ ハード面の観点から、１つの土地・建物に複数の施設を集合させること
多機能化 ⇒ ソフト面の観点から、１つの施設に複数の機能を持たせること



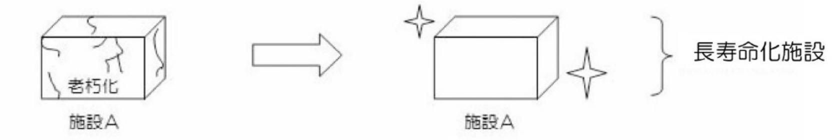
＜期待できる効果＞
・施設が複合化・多機能化されることにより、別の建物にあった複数の機能が、１つの建物で利用でき、利便性が向上する。
・ロビー、通路、設備などが共用化できるので、施設規模の縮小が可能となり、その結果、維持管理費の縮減に繋がる。

◆集約化 ⇒ 同種の機能を統合し、１つの土地・建物に集合させること



＜期待できる効果＞
・ロビー、通路、設備などが共用化できるので、施設規模の縮小が可能となり、その結果、維持管理費の縮減に繋がる。

◆長寿命化 ⇒ 施設の耐久性を向上させ、長持ちさせること



＜期待できる効果＞
・施設をより長く安全に利用し、トータルコストの縮減等を実現する。

平成 30 年 10 月

ここから、アンケートの各質問にお答えください。

1　公共施設の最適化について

（1） 現在、本市では2～4ページのように、公共施設の最適化を進めています。このような取り組みをご存知ですか。

1．よく知っている 2．ある程度知っている	⇒（2）へ
3．名前だけ聞いたことがあるが内容は知らない 4．知らない	⇒（3）へ

（2）前記の（1）で1．よく知っている または2．ある程度知っている を選択された方にお尋ねします。
本市の公共施設の最適化の取り組みをどこで知りましたか。（複数回答可）

1．市のホームページ
2．市報すいた
3．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（3）公共施設の今後のあり方の検討をする際には、行政と市民が情報を共有して進める必要があると考えています。どのような形で情報共有するべきだと思いますか。（複数回答可）

1．住民説明会やワークショップ※3の開催
2．市のホームページや市報すいたへの掲載
3．アンケートの実施
4．パブリックコメント※4の実施
5．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
6．わからない

※3 ワークショップ　：さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場
※4 パブリックコメント：市の進める計画などについて、あらかじめその案を公表し、広く意見を募集する手続き

（4）あなたが最近１年間に利用した公共施設はどれですか。該当する番号に○印をつけてください。（複数回答可）

1．行政施設	市役所、出張所、市民サービスコーナー、消費生活センター、情報発信プラザ、消防施設等
2．市民交流施設	文化会館、吹田歴史文化まちづくりセンター、市民ホール、市民センター、コミュニティセンター等
3．特定テーマ施設	千里ニュータウン情報館、交流活動館、男女共同参画センター、南山田市民ギャラリー、平和祈念資料館、花とみどりの情報センター、勤労者会館、市民公益活動センター
4．生涯学習施設	地区公民館、図書館、博物館、旧西尾家住宅、旧中西家住宅
5．青少年施設	自然体験交流センター、少年自然の家、青少年クリエイティブセンター、青少年活動サポートプラザ
6．スポーツ施設	市民プール、市民体育館、武道館、総合運動場、スポーツグラウンド
7．児童福祉施設	保育所、児童会館・児童センター、こども発達支援センター等
8．子育て支援施設	のびのび子育てプラザ、留守家庭児童育成室等
9．学校施設	幼稚園、小学校、中学校（※グラウンド、体育館開放の利用を含む）
10．生きがい活動施設	高齢者いこいの間、高齢者いこいの家、高齢者生きがい活動センター
11．高齢者・障がい者支援施設	障害者支援交流センター、総合福祉会館、グループホーム、デイサービスセンター、介護老人保健施設等
12．保健・医療施設	休日急病診療所、保健センター
13．その他の施設	（　　　　　）
14．どの施設も利用していない	

（5）今後、効率的かつ効果的に公共施設の建設や管理・運営を行っていくためには、どのような取り組みを進めるべきだと思いますか。（複数回答可）

1．現在ある施設の複合化・多機能化や集約化を進める
2．施設の建設や管理運営に、業務委託や民営化など民間活用を進める
3．近隣自治体と共同で施設を建設、管理・運営する
4．建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する
5．施設の建設や改修などを実施する際は、内装を華美で豪華なものにせず、必要最低限のものにして、トータルコストを削減する
6．使用料を徴収する施設を増やしたり、使用料を徴収する施設の使用料を引き上げたりして、維持管理費や運営費に対する施設の使用者の負担を増やす
7．市税による負担を増やし、維持管理費や運営費を市民全体で負担する
8．その他（　　　　　）
9．わからない

（6）今後、財政状況が厳しくなっていくことが見込まれる中で、公共施設の総量（総延床面積）についてはどうお考えですか。最もお考えに近いもの１つに○印をつけてください。

1．市民ニーズなどを検証したうえで、減らす方が良い
2．今ある公共施設は全て必要なので、現状維持する方が良い
3．市民生活をより充実させるため、増やす方が良い
4．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
5．わからない

（7）公共施設の今後のあり方を検討するうえで、維持・充実や廃止・縮小をすべき公共施設、また、民間活用として、業務委託や民営化、民間施設の利用などを進めるべき公共施設はあると思いますか。

「ア　維持・充実すべき施設機能・施設」、「イ　廃止・縮小すべき施設機能・施設」、「ウ　民間活用として、業務委託や民営化、民間施設の利用などを進めるべき施設機能・施設」についてお答えください。

「別紙 施設機能及び施設の一覧表」より３つ以内で選び、A 施設機能の番号（1〜13）とB 施設の番号（①〜㊻）、選択した理由をご記入ください。

A 施設機能の番号 と B 施設の番号は、どちらかのみのご記入でも結構です。また、該当する施設機能や施設がない場合は、ご記入いただかなくても結構です。

ア　維持・充実すべき施設機能・施設の回答欄

	A 施設機能の番号	B 施設の番号	選択した理由
1つ目	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　　　）
2つ目	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　　　）
3つ目	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　　　）

イ　廃止・縮小すべき施設機能・施設の回答欄

	A 施設機能の番号	B 施設の番号	選択した理由
1つ目	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　　　）
2つ目	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　　　）
3つ目	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　　　）

ウ　民間活用として、業務委託や民営化、民間施設の利用などを進めるべき施設機能・施設の回答欄

	A 施設機能の番号	B 施設の番号	選択した理由
1つ目	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　　　）
2つ目	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　　　）
3つ目	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　　　）

2　公共施設の複合化・多機能化について

（８）公共施設の最適化における取り組みの１つである複合化・多機能化を進めるにあたって、あなたはどの項目を重視すべきと思いますか。（複数回答可）
（９ページ「説明５．公共施設の複合化・多機能化の事例」をご参照ください。）

１．ロビー、通路、設備などを共用化し、施設規模の縮小を図り、維持管理費を減らす
２．異なる機能を持つ施設の相性を検討した上で、相性の良い機能を持つ施設同士を複合化・多機能化し、利便性を向上させる
３．施設利用者間が交流できるスペースをつくり、他の施設を利用する人と交流できるようにする
４．建物や設備を新しくして、快適に利用できるようにする
５．交通の便が良い場所に立地する
６．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
７．特になし
８．わからない

（９）公共施設を複合化・多機能化する場合、どのような施設機能や施設を組み合わせるのが良いと思いますか。「別紙 施設機能及び施設の一覧表」より、良いと思う順に３つ以内で組み合わせを選び、A 施設機能の番号（１～13）、B 施設の番号（①～㊷、㊺～㊻）、良いと思う理由をご記入ください。
　A 施設機能の番号 と B 施設の番号は、どちらかのみのご記入でも結構です。
また、該当する組み合わせがない場合は、ご記入いただかなくても結構です。
※㊸小学校と㊹中学校は「３　小・中学校の複合化・多機能化について」でお伺いします。

良いと思う順	施設１ A 施設機能の番号	施設１ B 施設の番号	と	施設２ A 施設機能の番号	施設２ B 施設の番号	良いと思う理由
１番目	[　　]	[　　]	と	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　）
２番目	[　　]	[　　]	と	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　）
３番目	[　　]	[　　]	と	[　　]	[　　]	（　　　　　　　　）

（10）お住まいの地域やご利用される駅周辺などで、公共施設と民間施設を併設する場合、どのような民間施設があれば良いと思いますか。（複数回答可）

１．コンビニエンスストア　　２．スーパーマーケット　　３．銀行
４．飲食店　５．郵便局　　６．その他（　　　　　　　　　　　　）
７．特になし

（11）公共施設のロビー等の共用スペースにおいて、１つの施設に複数の機能を持たせる多機能化を図る場合、どのような機能があれば良いと思いますか。（複数回答可）

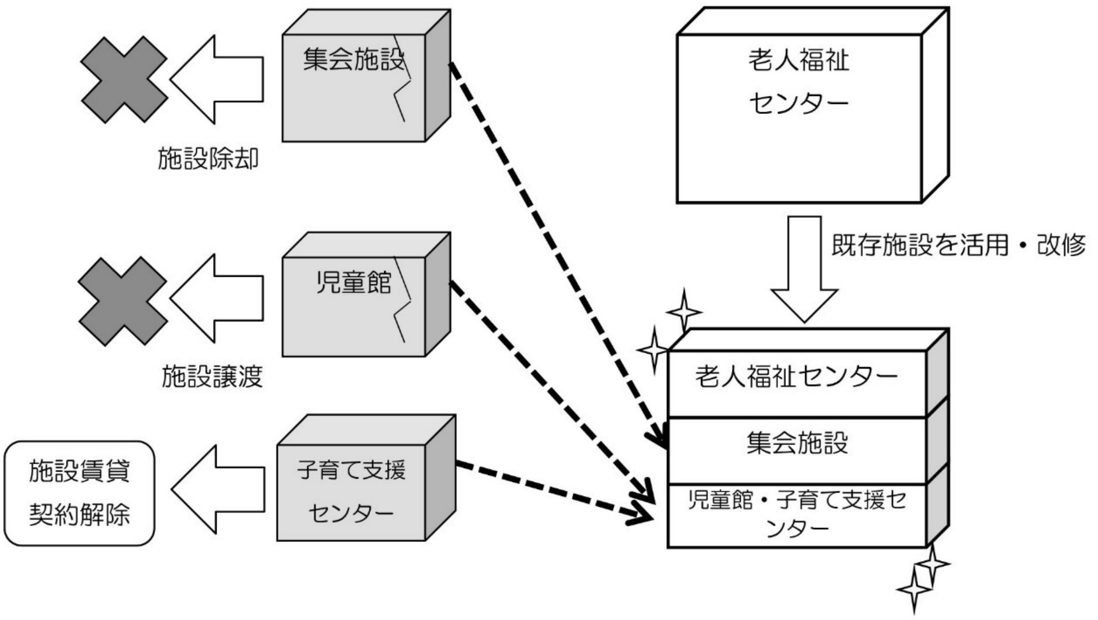
１．市民交流機能（市民が集えるスペース）　２．飲食機能　３．情報提供発信機能
４．展示機能　　　５．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）
６．特になし

説 明5．公共施設の複合化・多機能化の事例

全国の地方公共団体においても、今後、少子高齢化が進み、社会保障費の増大や生産年齢人口の減少による市税収入の減少が予測される中で、行政サービスの拠点・基盤としての公共施設は、その多くが老朽化し、長寿命化や更新などに取り組まなければならない時期に来ており、限られた予算のもとで効率的かつ効果的に公共施設の管理や運営をする必要があり、複合化・多機能化や集約化が実践されています。

～ 全国の事例 ～

老人福祉センターに、老朽化している集会施設と児童館、これまで民間建物の借り上げていた子育て支援センターを**複合化・多機能化**することで、維持管理費用の削減と、多目的での利用により世代間交流の促進を図るとともに、施設を改修した事例



＜効果＞

●複合化・多機能化

→複数の機能が１つの建物で利用でき、利便性が向上する

→設備・会議室等の共用化により総延床面積を縮減できる

●施設の改修

→設備が更新され、快適に利用できる

3　小・中学校の複合化・多機能化について

（12）全国の小・中学校では、右ページ「説明６．小・中学校の複合化・多機能化について」のように学校の余裕教室を活用し、学校教育以外の目的で、地域の方が利用している事例があります。このことについてどう思いますか。また、反対の場合はその理由も記入してください。
（11 ページ「説明６．小・中学校の複合化・多機能化について」をご参照ください。）

１．賛成
２．用途・内容によっては賛成　⇒（13）へ
３．反対（理由：　　　　　　　　　　　　）
４．わからない　⇒（16）へ

（13）小・中学校の余裕教室を活用した場合のメリット（利点）として何が考えられると思いますか。（複数回答可）

１．施設を有効に利用できる
２．児童・生徒と施設利用者が交流できる
３．施設利用者による子どもに対する見守りの目が増えるので防犯につながる
４．その他[　　　　　　　　　　　　]
５．わからない

（14）小・中学校の余裕教室を活用する場合、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。（複数回答可）

１．音、振動などが相互の活動に支障とならないための対策をとる
２．防犯面で、児童・生徒と施設利用者の動線（移動する経路）を分離する
３．児童・生徒と施設利用者の交流場所をつくる
４．その他（　　　　　　　　　　　　）
５．わからない

（15）どのような施設機能や施設が小・中学校に複合化・多機能化されれば良いと思いますか。「別紙 施設機能及び施設の一覧表」より、良いと思う順に５つ以内で選び、Ａ 施設機能の番号（１～13）、Ｂ 施設の番号（①～㊷、㊺～56）と良いと思う理由をご記入ください。
　Ａ 施設機能の番号 と Ｂ 施設の番号は、どちらかのみのご記入でも結構です。また、該当するものない場合は、ご記入いただかなくても結構です。

小学校・中学校 ＋（複合化・多機能化）

	Ａ 施設機能の番号	Ｂ 施設の番号	良いと思う理由
1番目	[　　]	[　　]	(　　　　　　)
2番目	[　　]	[　　]	(　　　　　　)
3番目	[　　]	[　　]	(　　　　　　)
4番目	[　　]	[　　]	(　　　　　　)
5番目	[　　]	[　　]	(　　　　　　)

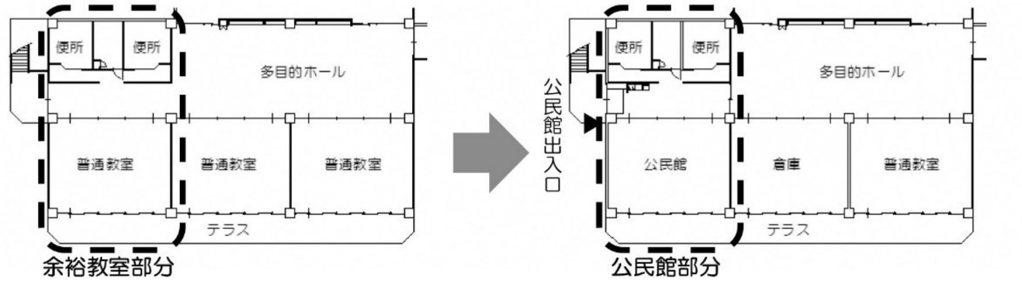
説 明6．小・中学校の複合化・多機能化について

国においては、教育基本法に基づき教育振興基本計画を策定し、良好で質の高い学びを実現する教育環境を整備する観点から、多様な学習活動に対応した機能的な小・中学校の整備を推進することや、学びの場である学校を中心に地域コミュニティの拠点の形成を推進する観点から、小・中学校の複合化・多機能化や余裕教室※5の活用を促進することとし、まちづくりや地域防災に関する政策等と連携して展開していく事を求めています。

※5 余裕教室：児童生徒数の減少により、今後５年間以内に、普通教室として使用されることがないと考えられる教室のこと
（出典：「廃校施設・余裕教室の有効活用」 文部科学省
＜http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/yoyuu.htm＞平成 30 年９月 20 日に利用）

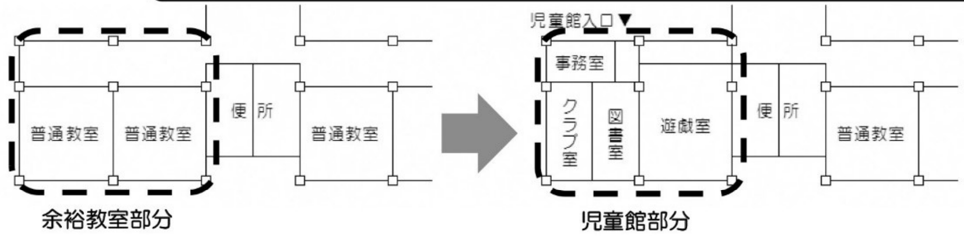
全国の事例１

地区公民館の建物が老朽化し、改築か代替施設を使用する必要が生じたため、余裕教室を活用して、小学校に地区公民館を複合化・多機能化



全国の事例２

児童館の建物が老朽化し、改築か代替施設を使用する必要が生じたため、余裕教室を活用して、小学校に児童館を複合化・多機能化



現在、本市の小・中学校では、老朽化した校舎の長寿命化を進めており、計画的に維持保全を行い、校舎を築 80 年程度まで使用する予定をしています。

児童・生徒数については、大規模マンション建設の影響等によって増加している地域があり、教室が不足するため、校舎を増築している学校もあります。しかし、今後、全国的に人口減少や少子高齢化が進展する中で、本市においても、人口減少や児童・生徒数の減少が予想されます。

小・中学校は、本市が保有する公共施設（一般建築物）の総量（総延床面積）の約 50%を占めています。また、一定の規模を備え、各地域に配置されているため、小・中学校を防災や地域交流の視点を踏まえた、各地域の拠点施設として活用することが重要であり、将来、校舎の建替えの際や、余裕教室が増加した際には、**複合化・多機能化**の検討を行うことが必要だと考えています。

４　貸室機能の整理について

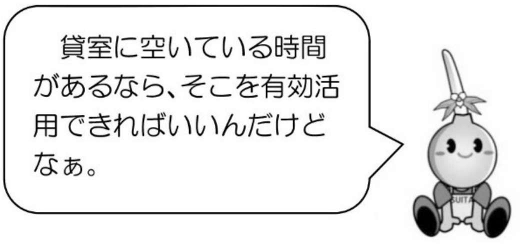
（16）利用料金、広さや設備などはそれぞれ異なり、利用状況にも違いがありますが、下記の「表１　貸室機能のある施設」には、会議や講座、体操などに利用できる貸室機能があります。

公共施設の最適化を進めるにあたって、貸室機能のある施設を集約することも考えられますが、今後、貸室機能についてはどうすべきと思いますか。

1．貸室機能のある施設は計画的に集約を進めるが、貸室機能は共用せず、施設内で独立させる
2．貸室機能のある施設は計画的に集約を進め、貸室機能は共用する
3．施設にはそれぞれに役割があるので、それぞれの施設を存続させ、貸室機能もそのままにする
4．貸室機能は必要ない
5．その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
6．わからない

表１　貸室機能のある施設（参考）

どなたでもご利用いただける貸室	利用可能な方が限定されている貸室
交流活動館	のびのび子育てプラザ
男女共同参画センター	佐竹台地域交流室
市民ホール	高齢者生きがい活動センター
市民センター	障害者支援交流センター
山田ふれあい文化センター	総合福祉会館
コミュニティセンター	保健センター
市民公益活動センター	千里山・佐井寺図書館
勤労者会館	
文化会館	
吹田歴史文化まちづくりセンター	
目俵市民体育館	
南山田市民ギャラリー	
資源リサイクルセンター	
花とみどりの情報センター	
地区公民館	
青少年活動サポートプラザ	



5　回答者の属性について

（17）あなたの年齢（記入日現在）

1．１０歳代	2．２０歳代	3．３０歳代	4．４０歳代
5．５０歳代	6．６０歳代	7．７０歳代	8．８０歳以上

（18）あなたが現在お住まいの地域（次ページの「表２ 地域名及び町丁名」をご参照の上、ご回答ください）

1．JR 以南地域	2．片山・岸部地域
3．豊津・江坂・南吹田地域	4．千里山・佐井寺地域
5．山田・千里丘・万博地域	6．千里ニュータウン地域

（19）現在お住まいの地域での居住年数（記入日現在）

1．１年未満	2．１年以上～５年未満
3．５年以上～１０年未満	4．１０年以上～２０年未満
5．２０年以上～３０年未満	6．３０年以上

（20）あなたの職業（主なもの１つに○印をつけてください）

1．会社員	2．自営業
3．会社経営者・役員	4．公務員
5．家事従事者	6．パート・アルバイト
7．学生	8．無職（家事従事者・学生を除く）
9．その他（　　　　　　　　　　）	

（21）あなたの世帯構成

1．単身世帯
2．夫婦だけの世帯
3．親と子（中学生以下の子がいる）の世帯（２世代）
4．親と子（中学生以下の子がいない）の世帯（２世代）
5．親と子と孫（中学生以下の孫がいる）の世帯（３世代）
6．親と子と孫（中学生以下の孫がいない）の世帯（３世代）
7．その他の世帯（　　　　　　　　　　）

表２　地域名及び町丁名

番号	地域名	町丁名
1	JR以南地域	朝日町、内本町1丁目～3丁目、川岸町、川園町、寿町1丁目～2丁目、幸町、昭和町、吹東町、末広町、清和園町、高城町、高浜町、中の島町、西御旅町、東御旅町、日の出町、平松町、南正雀1丁目～5丁目、南清和園町、南高浜町、目俵町、元町
2	片山・岸部地域	朝日が丘町、片山町1丁目～4丁目、上山手町、岸部北1丁目～5丁目、岸部中1丁目～5丁目、岸部南1丁目～3丁目、芝田町、天道町、出口町、西の庄町、原町1丁目～4丁目、藤が丘町、山手町1丁目～4丁目
3	豊津・江坂・南吹田地域	泉町1丁目～5丁目、江坂町1～4丁目、江の木町、金田町、垂水町1丁目～3丁目、豊津町、広芝町、穂波町、南金田1丁目～2丁目、南吹田1丁目～5丁目、芳野町
4	千里山・佐井寺地域	江坂町5丁目、春日1丁目～4丁目、佐井寺1丁目～4丁目、佐井寺南が丘、五月が丘北、五月が丘西、五月が丘東、五月が丘南、千里山霧が丘、千里山高塚、千里山竹園1丁目～2丁目、千里山月が丘、千里山西1丁目～6丁目、千里山虹が丘、千里山東1丁目～4丁目、千里山星が丘、千里山松が丘、竹谷町、円山町
5	山田・千里丘・万博地域	青葉丘北、青葉丘南、樫切山、清水、尺谷、新芦屋上、新芦屋下、千里丘上、千里丘北、千里丘下、千里丘中、千里丘西、長野西、長野東、山田市場、山田北、山田西1丁目～4丁目、山田東1丁目～4丁目、山田南
6	千里ニュータウン地域	青山台1丁目～4丁目、上山田、佐竹台1丁目～6丁目、千里万博公園、高野台1丁目～5丁目、竹見台1丁目～4丁目、津雲台1丁目～7丁目、藤白台1丁目～5丁目、古江台1丁目～6丁目、桃山台1丁目～5丁目、山田丘

平成30年10月

6　その他

（22）本アンケートの説明や質問・選択肢は分かりやすかったですか。分かりにくかった場合は、どの部分が分かりにくかったかをご記入ください。

1．分かりやすかった
2．どちらでもない
3．分かりにくかった（どの部分ですか：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（23）その他、公共施設についてご意見がありましたら、ご記入ください。

別紙　施設機能及び施設の一覧表

７ページの（７）、８ページの（９）、10 ページの（15）の回答の際に必要な資料です。

Ａ　施設機能の番号 １ ～ 13	Ｂ　施設の番号 ① ～ ㊻
１．行政施設機能	①市役所、②出張所、③市民サービスコーナー、 ④消費生活センター、⑤情報発信プラザ、⑥消防施設、 ⑦その他（　　　　　　　　　　　　　　　）
２．市民交流施設機能	⑧文化会館、⑨吹田歴史文化まちづくりセンター、 ⑩市民ホール、⑪市民センター、⑫コミュニティセンター、 ⑬その他（　　　　　　　　　　　　　　　）
３．特定テーマ施設機能	⑭千里ニュータウン情報館、⑮交流活動館、 ⑯男女共同参画センター、⑰南山田市民ギャラリー、 ⑱平和祈念資料館、⑲花とみどりの情報センター、 ⑳勤労者会館、㉑市民公益活動センター
４．生涯学習施設機能	㉒地区公民館、㉓図書館、㉔博物館、 ㉕その他（　　　　　　　　　　　　　　　）
５．青少年施設機能	㉖自然体験交流センター、㉗少年自然の家、 ㉘青少年クリエイティブセンター、 ㉙青少年活動サポートプラザ
６．スポーツ施設機能	㉚市民プール、㉛市民体育館、㉜武道館、㉝総合運動場、 ㉞スポーツグラウンド
７．児童福祉施設機能	㉟保育所、㊱児童会館・児童センター、 ㊲こども発達支援センター、 ㊳その他（　　　　　　　　　　　　　　　）
８．子育て支援施設機能	㊴のびのび子育てプラザ、㊵留守家庭児童育成室、 ㊶その他（　　　　　　　　　　　　　　　）
９．学校施設機能	㊷幼稚園、㊸小学校、㊹中学校
10．生きがい活動施設機能	㊺高齢者いこいの間、㊻高齢者いこいの家、 ㊼高齢者生きがい活動センター
11．高齢者・障がい者支援施設機能	㊽障害者支援交流センター、㊾総合福祉会館、 ㊿デイサービスセンター、51グループホーム、 52介護老人保健施設、 53その他（　　　　　　　　　　　　　　　）
12．保健・医療施設機能	54休日急病診療所、55保健センター
13．その他の施設機能	56その他（　　　　　　　　　　　　　　　）

この用紙は、調査票と一緒に返信用封筒に入れて投函してください。